

2021年4月10日
個人投資家向け
会社説明会

株式会社エアトリ
東証第一部：6191

エアトリ

- 会社概要
- ビジネスモデル
- 直近の業績
FY21.1Q 決算概要
- 新型コロナウイルス影響に対する施策と成果
- FY21.1Q アクションの成果
- 成長戦略「エアトリ2021」
“リ・スタート”～アフターコロナ時代の新成長戦略
- 株主還元
- Appendix FY21.1Q 事業進捗

会社概要

商号	株式会社エアトリ(英文名：AirTrip Corp.)（旧株式会社エボラブルアジア）
設立	2007年5月11日
資本金	617,005,490円（払込資本1,561,157,223円）＜2021年2月末現在＞
株式市場	東京証券取引所市場第一部（証券コード：6191）
決算期	9月
本社	東京都港区
従業員	連結：1248名＜2021年2月現在＞
主な連結子会社	Evolable Asia Co., Ltd / EVOLABLE ASIA SOLUTION & BUSINESS CONSULTANCY COMPANY LIMITEDLTD / 株式会社インバウンドプラットフォーム / 株式会社らくだ倶楽部 / Punch Entertainment (Vietnam) Company Limited / GREVO Co., Ltd. / 株式会社ハイブリットテクノロジー / 株式会社エボラブルアジアエージェント / 株式会社まぐまぐ / 株式会社エヌズ・エンタープライズ / 株式会社エアトリステイ / 株式会社エアトリインターナショナル / 株式会社九州ホテルリゾート / 株式会社創基アジア / 株式会社セブンフォーセブンエンタープライズ / 株式会社ピカパカ / 株式会社ピカパカメディカルサービス
事業内容	エアトリ旅行事業（Web直販、旅行コンテンツOEM提供、卸売、BTM） 訪日旅行事業・Wi-Fiレンタル事業 ITオフショア開発事業（ラボ型オフショア開発、ゲーム開発、BPOサービスの提供） ライフイノベーション事業（メルマガ、メディア、スーツケースレンタル） ヘルスケア事業（医療コンサルティング・PCR検査サービス） 投資事業
鉄道・航空会社グループとの契約	東日本旅客鉄道株式会社 / 全日本空輸株式会社 / ANAセールス株式会社 / 株式会社ジャルセールス / スカイマーク株式会社 / Peach Aviation株式会社 / ジェットスター・ジャパン株式会社 / 春秋航空日本株式会社 / 株式会社フジドリームエアラインズ



代表取締役社長 兼 CFO

柴田 裕亮

1982年生
東京大学出身

取締役COO

王 伸

1987年生
慶應義塾大学出身

取締役

増田 武

1978年生
国立長岡工業高等専門学校出身



取締役会長

大石 崇徳

1972年生
明治大学出身

取締役CSO

二井矢 祥

1986年生
慶應義塾大学出身

取締役

田村 諭史

1974年生
トラベルジャーナル旅行専門学校出身



取締役CGO

吉村 英毅

1982年生
東京大学出身

取締役

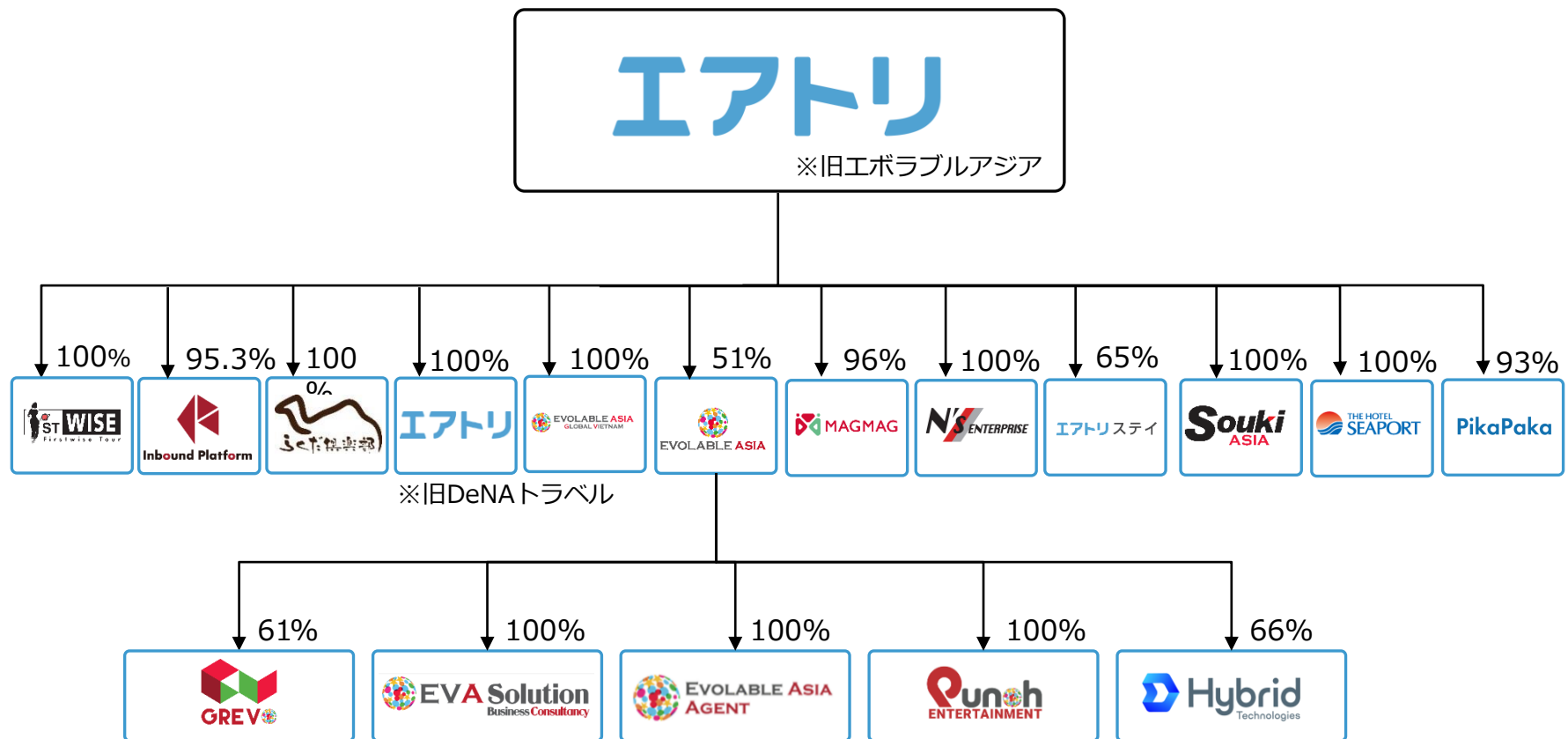
秋山 匡秀

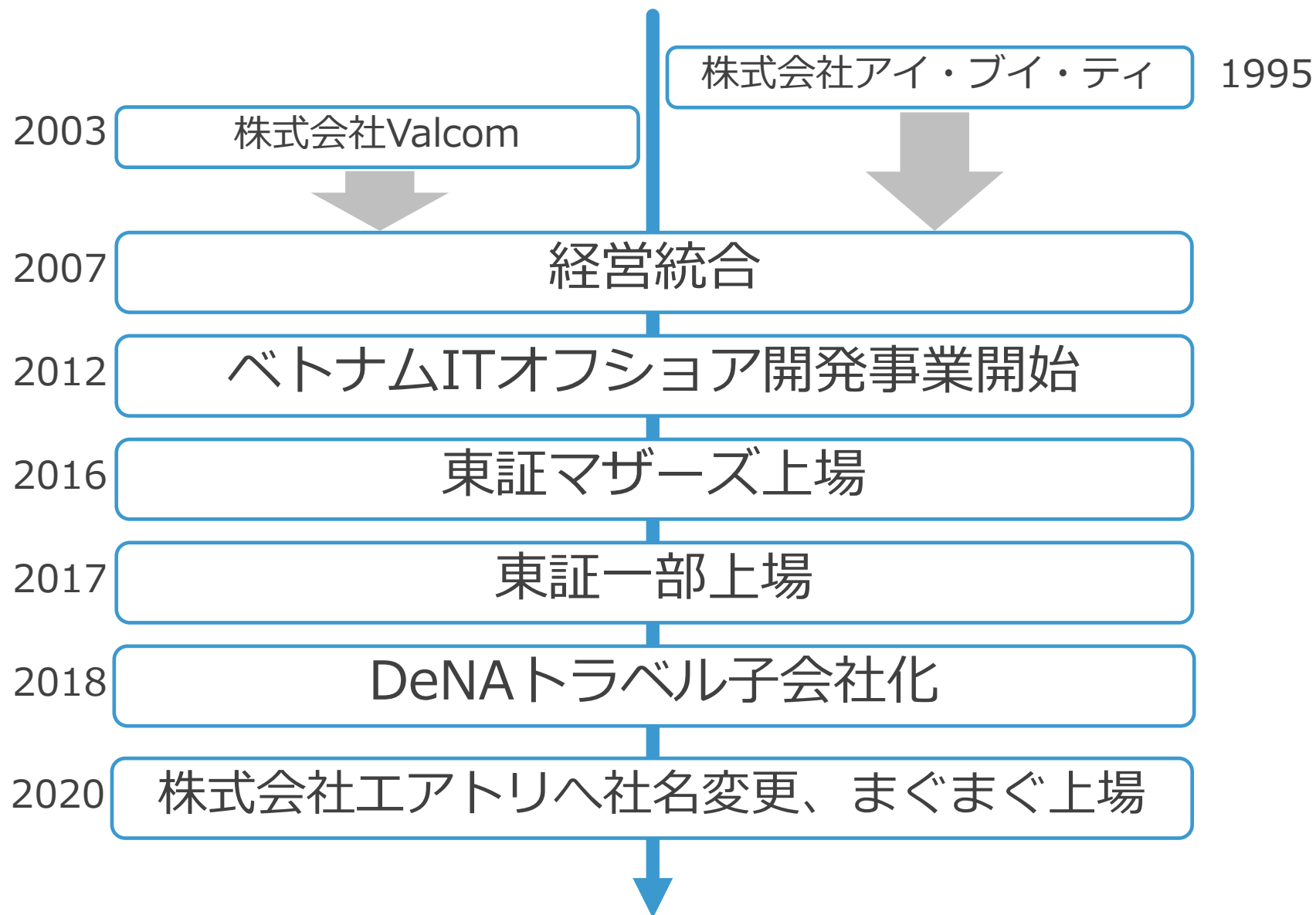
1977年生
日本大学出身

取締役

酒井 和真

1976年生
東京理科大学大学院出身





6つの事業ドメイン



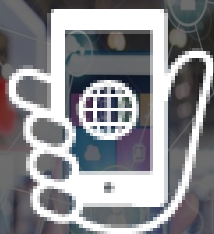
訪日旅行事業・Wi-Fiレンタル事業
Inbound Travel・Wi-Fi Rental



エアトリ旅行事業
AirTrip Travel



ITオフショア開発事業
IT Offshore Development



ライフノベーション事業
Life Innovation



ヘルスケア事業
Health Care



投資事業
Investment

エアトリ旅行

事業

総合旅行プラットフォーム「エアトリ」を中心とした旅行コンテンツの提供

エアトリ

訪日旅行事業・
Wi-Fiレンタル

事業

インバウンド需要への旅行関連サービスの提供

Inbound Platform

エアトリステイ

ITオフショア開発

事業

オフショアでの高品質なITハイブリッド開発の提供

ライフイノベーション

事業

お客様の生活をあらゆるシーンでより便利にするサービスの提供

伝えたいことを、知りたい人に



ヘルスケア

事業

ウィズコロナに対応した医療サービスを提供

PikaPaka

PikaPaka
メディカルサービス

投資

事業

成長企業への投資を通じて投資先企業との協業等によるシナジーの追求

オンライン旅行サイト「エアトリ」 航空券インターネット取扱高 No.1



エアトリ

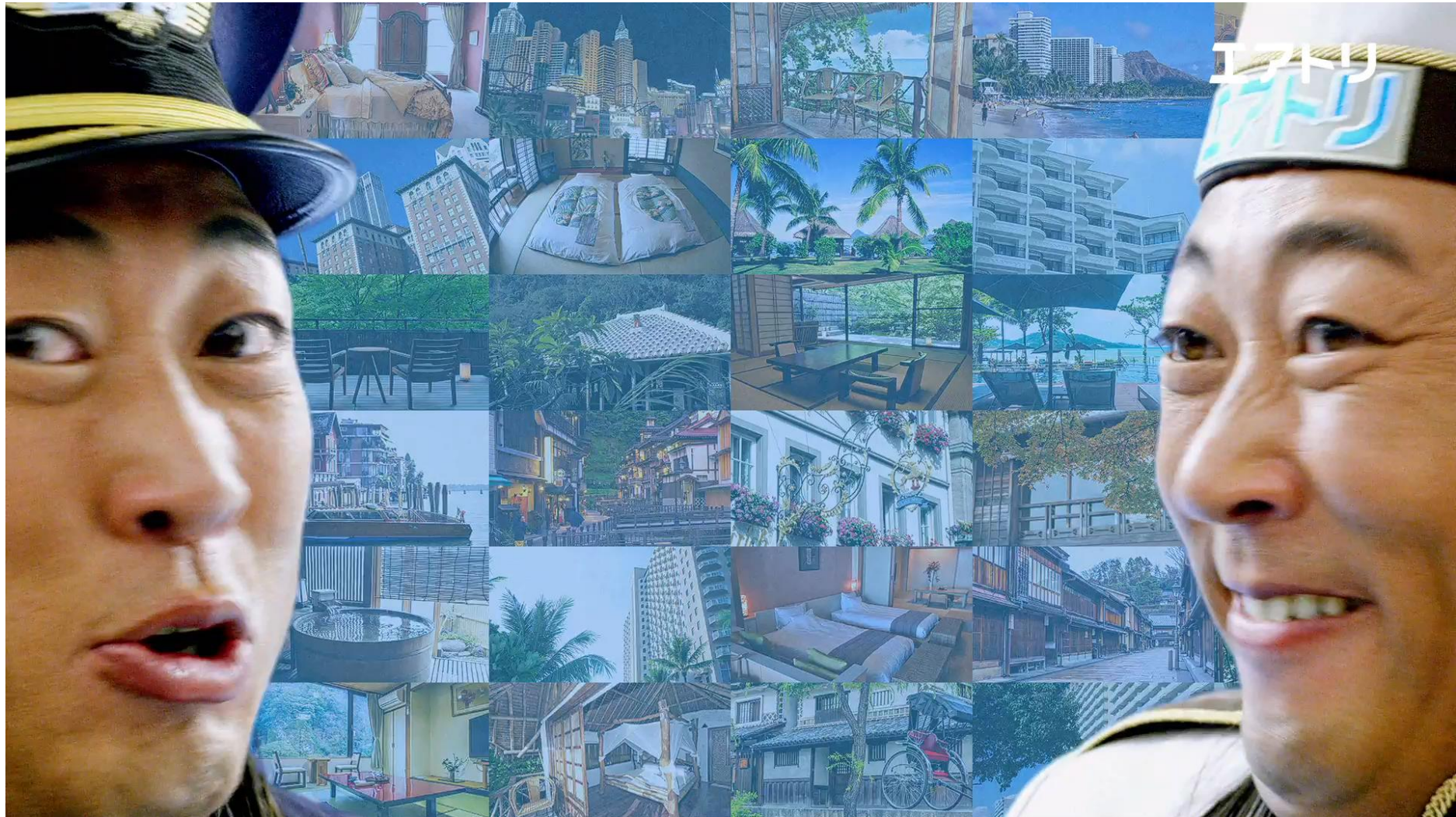


商材拡充により総合旅行プラットフォームへ

- | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-----------|-----------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|---------|-------|-----|---------|
| | | | | | | | | | | | | | |
| 国内航空券 | 海外航空券 | 国内航空券+ホテル | 海外航空券+ホテル | 国内ツアー | 沖縄ツアー | 海外ツアー | ハワイツアー | 国内ホテル | 海外ホテル | 夜行・高速バス | レンタカー | 新幹線 | アクティビティ |

法人向けサービス

エアトリ BTM



JAPAN WIRELESS
Stay Connected, Anywhere in Japan
Mobile Wi-Fi Rental, SIM Sales in Japan

TOP Products Rental steps Advantages FAQ Support

- ✓ Best Price Guarantee
- ✓ No.1 Wi-Fi Rental Service in Japan
- ✓ Unlimited Hi-Speed Internet

ORDER Wi-fiレンタル

キャンピングカーレンタル専門のエ尔蒙テRV
EL MONTE RV
MOTORHOME VACATIONS

☎ 0120-905-747
English

アメリカでのキャンピングカー
レンタルはこちらから

ご利用案内	車両案内	料金	レンタル場所	保険・補償制度	体験談	予約
-------	------	----	--------	---------	-----	----

出発日時
2018年09月09日(日) -

返却日時
2018年09月09日(日) -

検索する

キャンピングカーレンタル

AirTrip Exchange
HOME ABOUT US OUR LOCATIONS CONTACT US Lang

**AIRTRIP EXCHANGE'S
CHEAP AND CONVENIENT
CURRENCY EXCHANGE
SERVICES**

No Comission, No Charge

両替事業

エアトリステイ

トップ サービス内容 プラン紹介 商品の詳細 お問い合わせ

Airbnbホストをご検討されている方へ

まるで住んでいるかのような、快適で安心な宿泊体験を。
エアトリステイでは、お部屋の作り込み、Airbnbへの掲載、予約の管理、チェックイン・チェックアウト対応、レビューの管理、客の対応、お部屋の清掃・メンテナンス、宿泊客のサポートなど、お客様の運営を代行させていただきます。

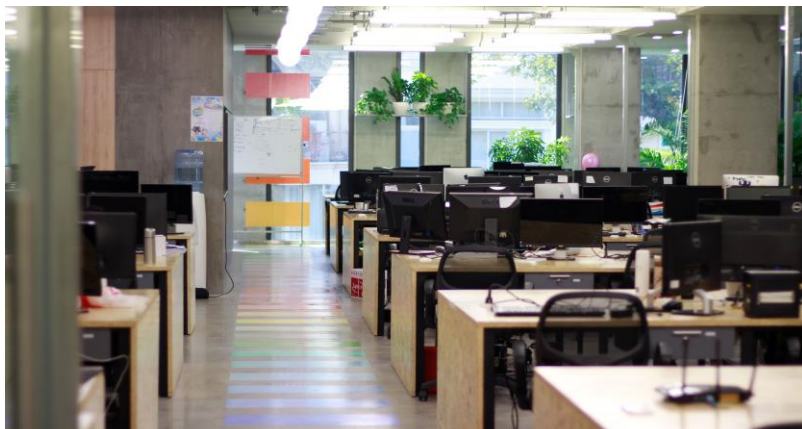
“エアトリステイ”は
あなたの住宅宿泊事業導入・運営をサポートします

民泊事業

準備 セットアップ 運営代行

東南アジアにおける日系オフィス開発会社最大手

正社員のITエンジニア約1,000名



ホーチミンオフィス



開発風景



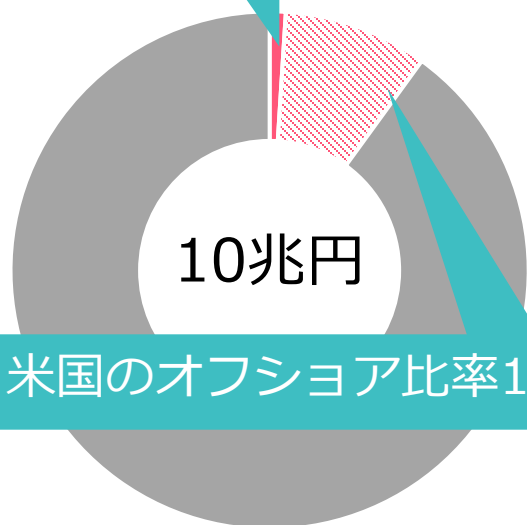
キックオフイベント



ライブラリー

市場規模10倍の**1兆円**以上への拡大余地あり

日本のオフショア比率1%



米国のオフショア比率10%

日本の開発市場

市場

1



稼働率**約100%**の開発モデル

2



炎上リスク・赤字リスク **ゼロ**

3



ストック型のビジネスモデル

強み



株式会社まぐまぐ（東証JASDAQ上場/証券コード：4059）

優良メルマガでも様々なジャンルのクリエイターが活躍

プラットフォーム事業

メールマガジンを中心としたコンテンツ配信プラットフォームを運営。

メディア広告事業

4つのWebメディアおよび、まぐまぐが発行するメールマガジンを運営。

その他事業

クリエイターの活動の支援と促進を目的として活動。
イベント企画等が属しています。



事業内容
4つのWebメディアについて

MAG2NEWS

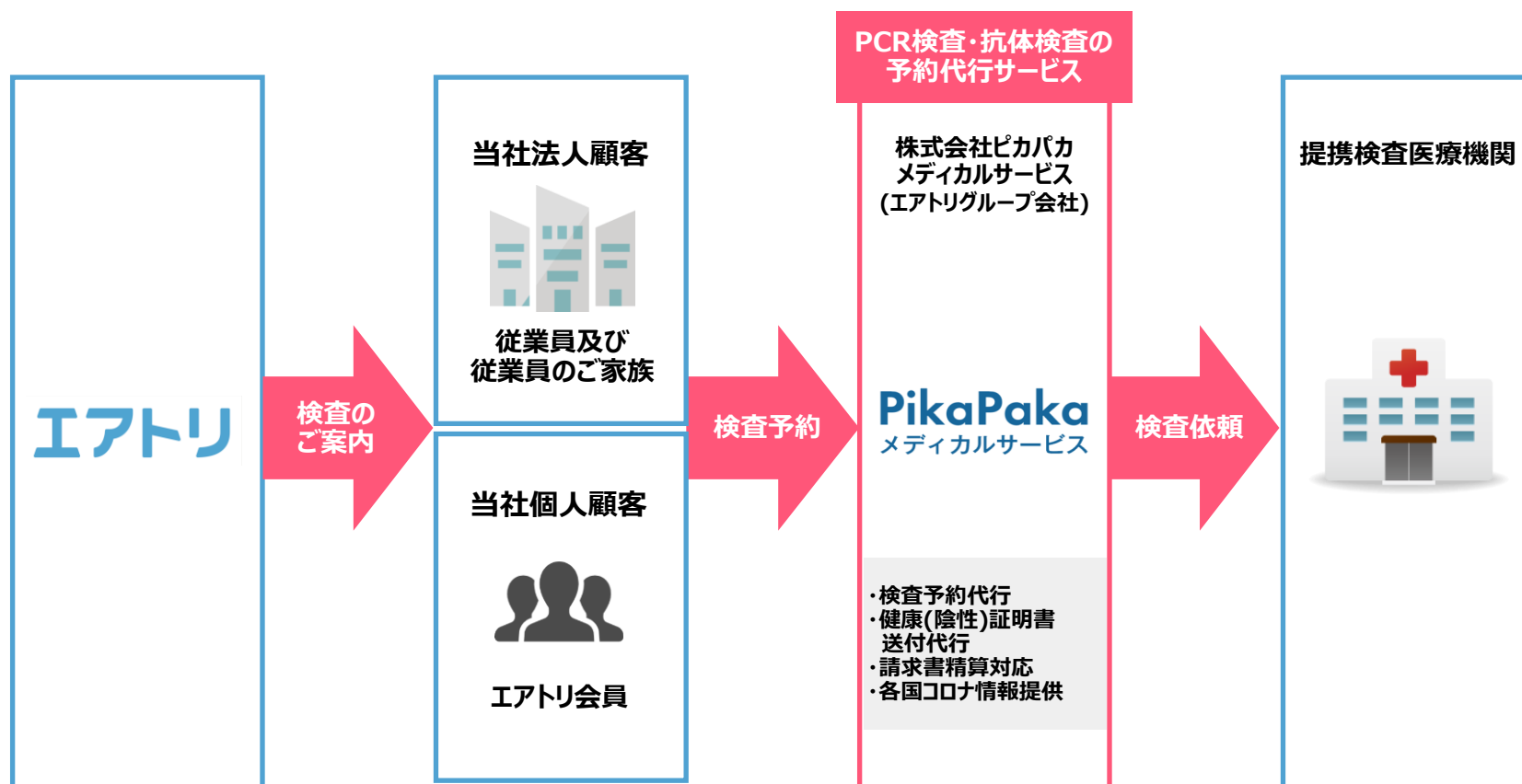
年間4,700万UU*の総合ニュースメディア

「まぐまぐ」から発行されるメルマガを編集し、ニュース記事としてWebで紹介する総合ニュースメディア。政治・経済・ビジネス・芸能・科学などの各分野の専門家による記事を提供し、様々な分野のコンテンツを掲載。

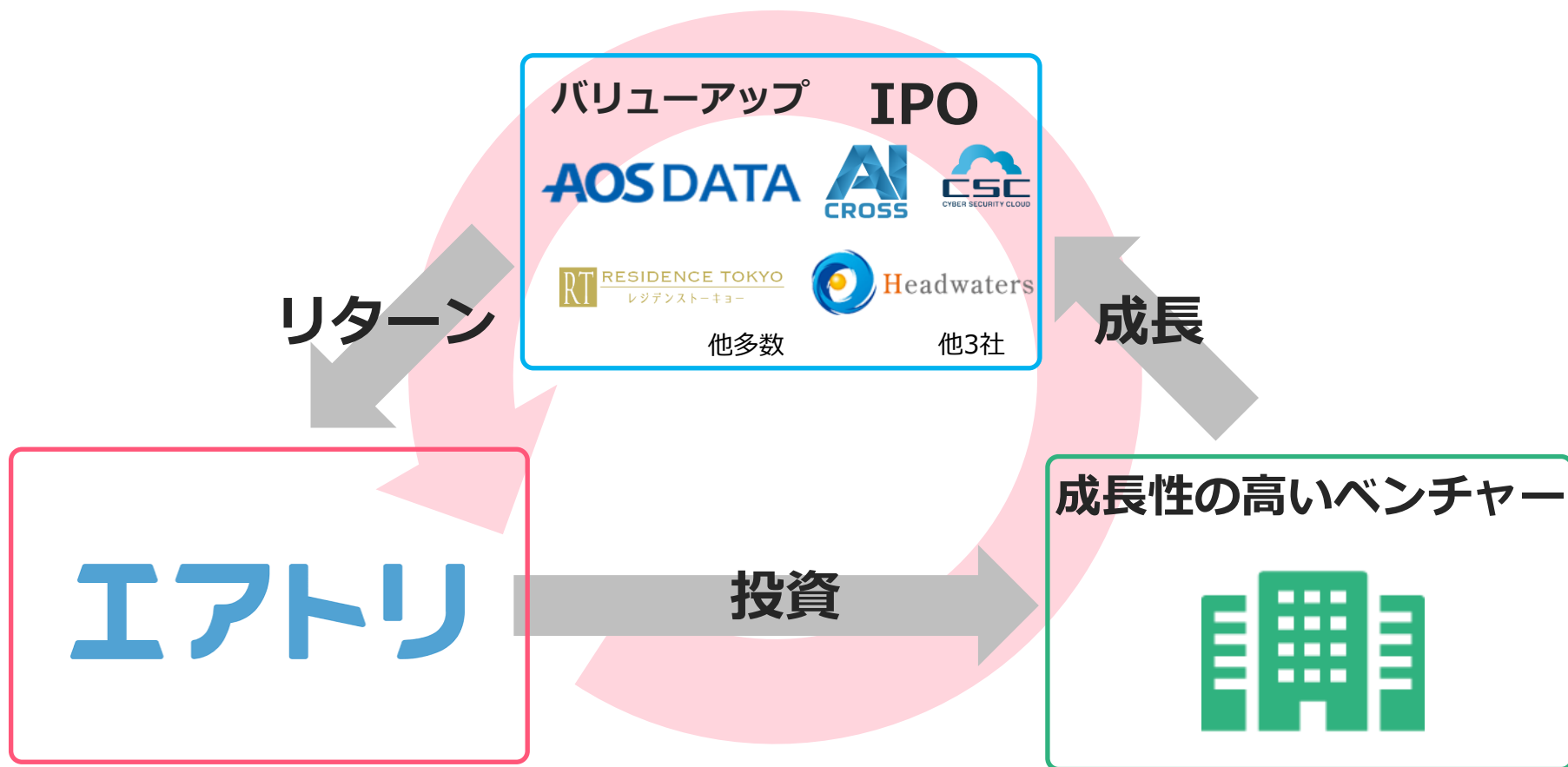
*Googleアナリティクスにて2019年9月期の期間を対象期間として集計



PCR検査・抗体検査の予約代行サービス開始



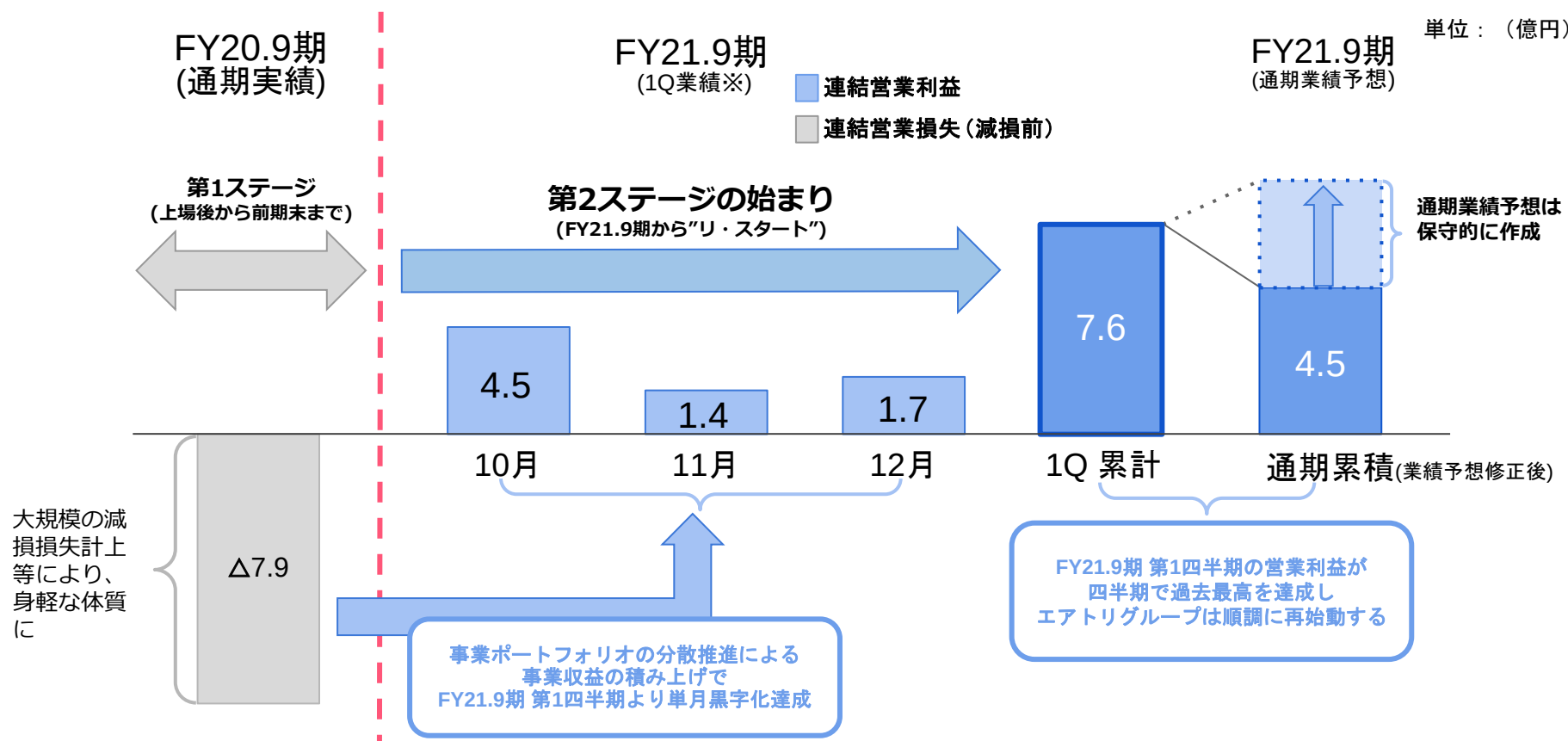
投資先企業の成長により継続的な収益獲得を見込む ～投資先にIPO予定会社複数～



直近の業績 FY21.1Q 決算概要

上場後の第2ステージの始まりと位置づけたFY21.9期 第1四半期は
成長戦略「**エアトリ2021”リ・スタート”**」の実行により、
業界の先陣を切り、営業利益が7.6億円と過去最高を達成!!

～通期業績予想を大きく超える伸長で、エアトリグループは順調に再始動～



※上記の1Q業績は現時点の速報値であり、実際の業績とは異なる可能性があります。

エアトリ旅行事業を起点としたエアトリ経済圏を構築 ～エアトリグループのアセット活用による多角的な事業展開を推進～



当社の強みとなる事業展開ノウハウ・マーケティングノウハウ・システム開発力・ブランド力・顧客基盤等のアセットの活用による事業ポートフォリオの分散を推進

- FY21.9期 第1四半期の業績は、取扱高103億円、売上高65.6億円、**営業利益7.6億円**
● 今期を第2ステージ「リ・スタート」元年と位置づけ、成長戦略「エアトリ2021”リ・スタート”」
の実行により業界の先陣を切り、第1Qは四半期会計期間での**営業利益が過去最高を達成**

エアトリ旅行事業においては、前期までの施策の成果、さらにGoToトラベルが追い風となり、国内旅行領域を中心に収益及び利益が大きく回復

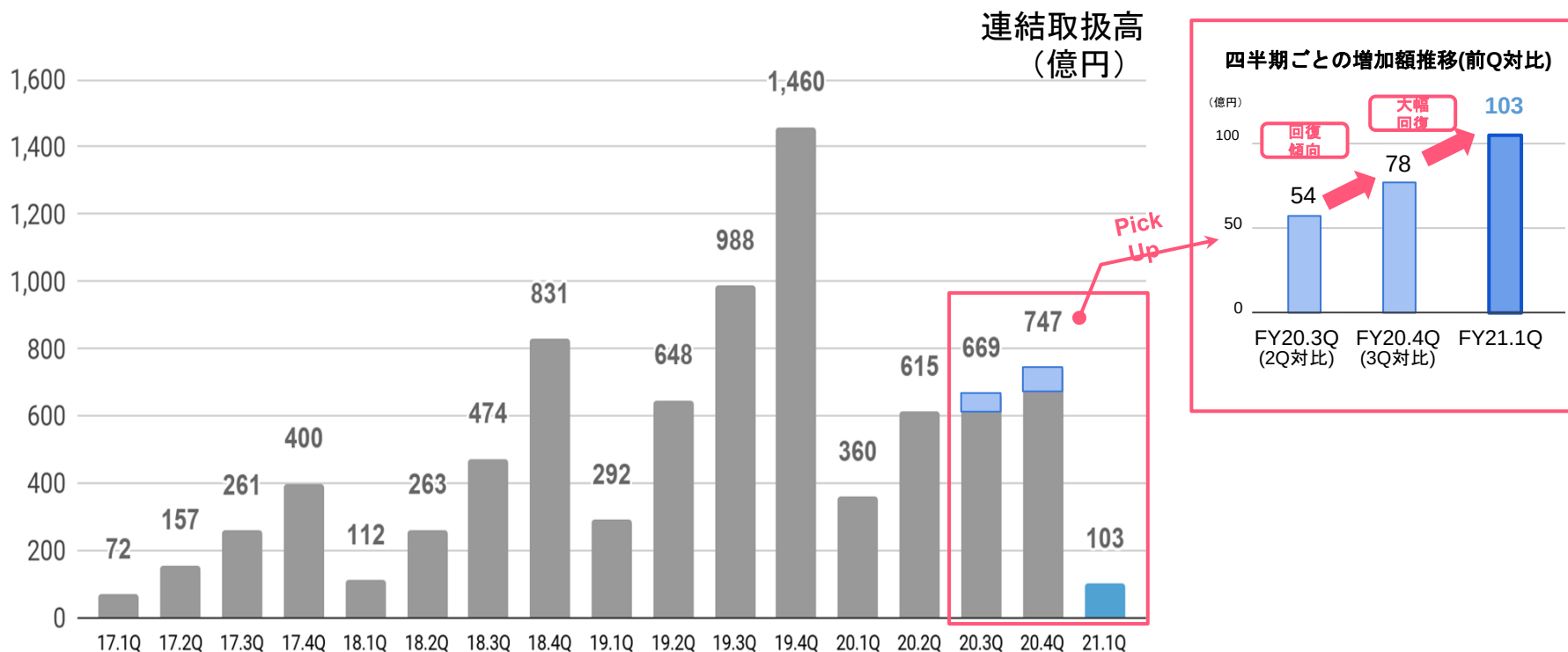
- 旅行領域以外の既存事業領域においては、ヘッドウォータース社の上場による利益の実現、
メンタルヘルステクノロジーズ社への追加出資やラストワンマイル社・TRUST社への資本参加等、
投資事業を中心に将来の利益創出に向けた各種施策を推進し、**順調な成長を継続**

- 昨期より新たに開始したヘルスケア事業においては、急増するPCR検査等の需要の取り込みによ
り、**順調な事業立ち上げを実現し、足元ではテレビCM等による大規模プロモーションにより、更**
なる事業成長を推進

- 足元では、新型コロナ感染拡大及び緊急事態宣言による旅行需要への影響が出ているものの、当
社の強みとなる事業展開ノウハウ、マーケティングノウハウ、システム開発力、ブランド力、顧
客基盤等のアセットの活用による**事業ポートフォリオの分散**が進み、**エアトリ経済圏の構築**を実
現

- 今後、コロナ収束に伴う国内・海外旅行需要の回復やGoToトラベル再開によるエアトリ旅行事業
の大幅な収益及び利益回復、旅行領域以外の4つの既存事業領域の順調な成長継続と新規事業領域
であるヘルスケア事業の更なる事業成長といった**事業ポートフォリオの分散推進による事業収益**
の積み上げにより、**再始動したエアトリグループは終わりなき成長を目指す**

取扱高 前期比29% 第1四半期の取扱高 コロナ禍で回復傾向継続

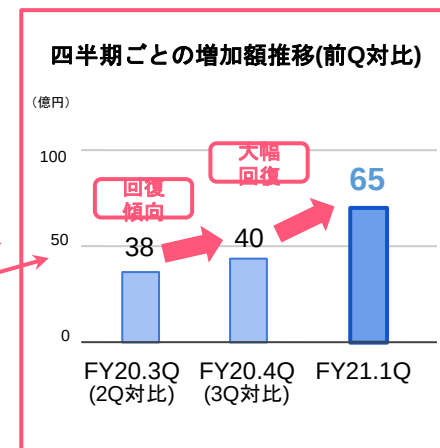
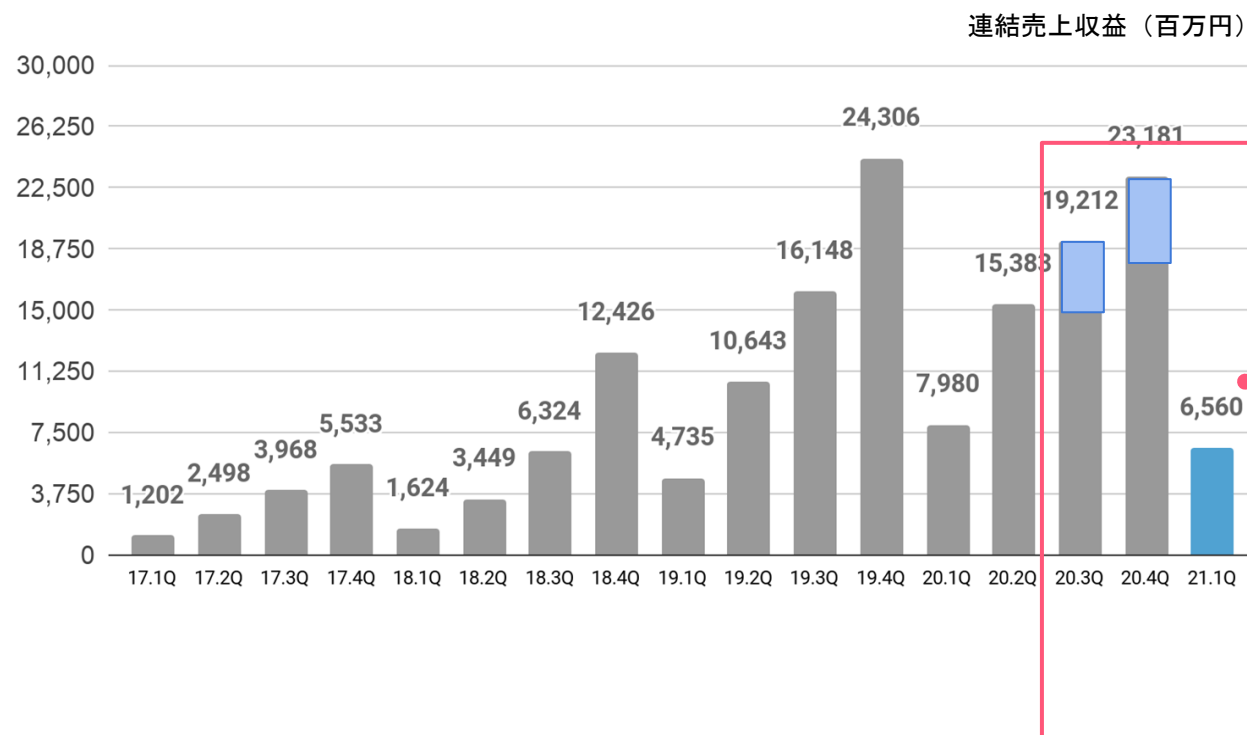


※FY19.4Qよりキャンセル前取扱高に変更

※FY20.1Qは、非継続事業を除外して集計しております

売上収益 前期比82%

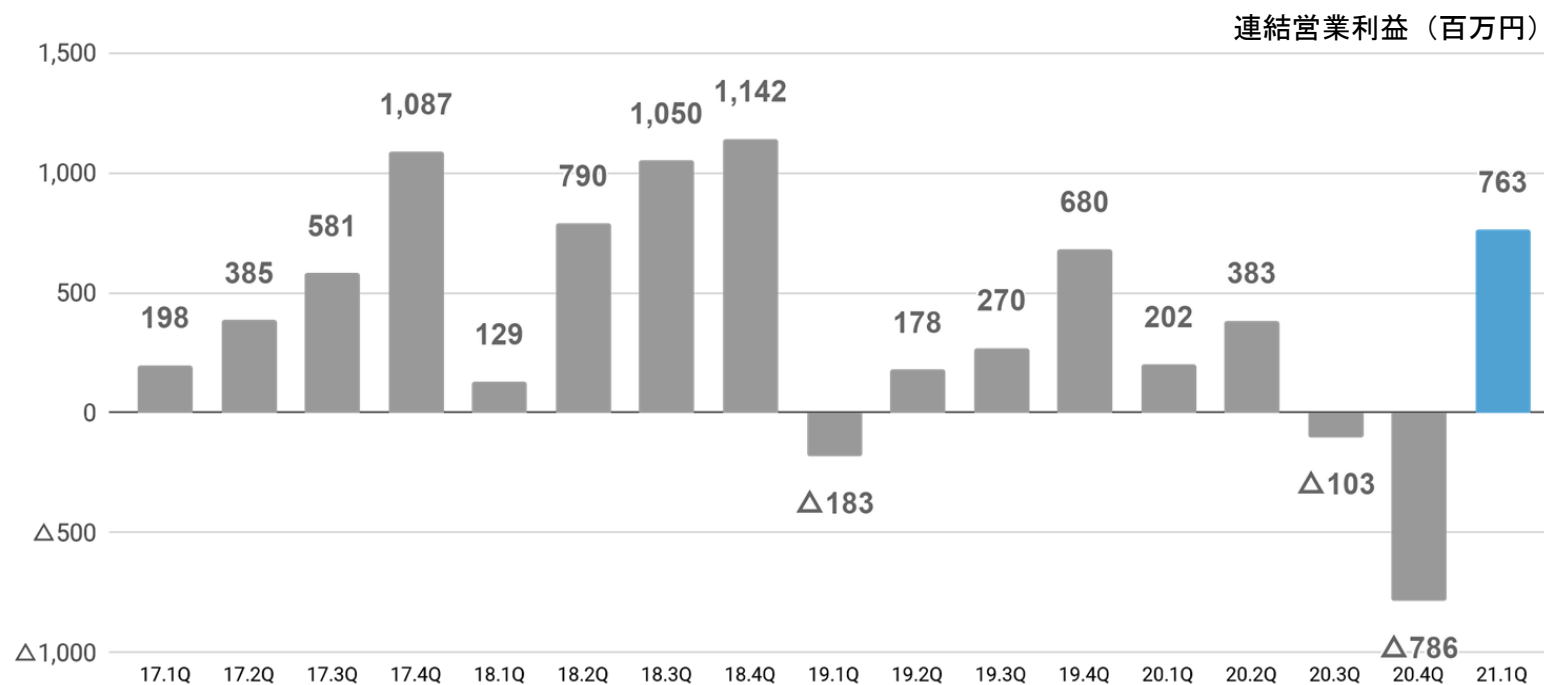
第1四半期の売上高 コロナ禍でも回復傾向継続



※FY20.1Qは、非継続事業を除外して集計しております

営業利益 前期比379%

第1四半期は会計期間で過去最高の営業利益を達成



※FY20.1Qは、非継続事業を除外して集計しております

取扱高は前年比で減少しているものの、
各事業領域の業績回復により、**過去最高の営業利益**を達成

(百万円)

	FY20.1Q		FY21.1Q	
	金額	売上高比率	金額	売上高比率
取扱高	36,046	—	10,363	—
売上収益	7,980	100.0%	6,560	100.0%
売上総利益	2,961	37.1%	1,935	29.5%
営業利益 (非継続事業含む)	800	10.0%	763	11.6%
営業利益	202	2.5%	763	11.6%
親会社帰属 当期純利益	692	8.6%	432	6.6%

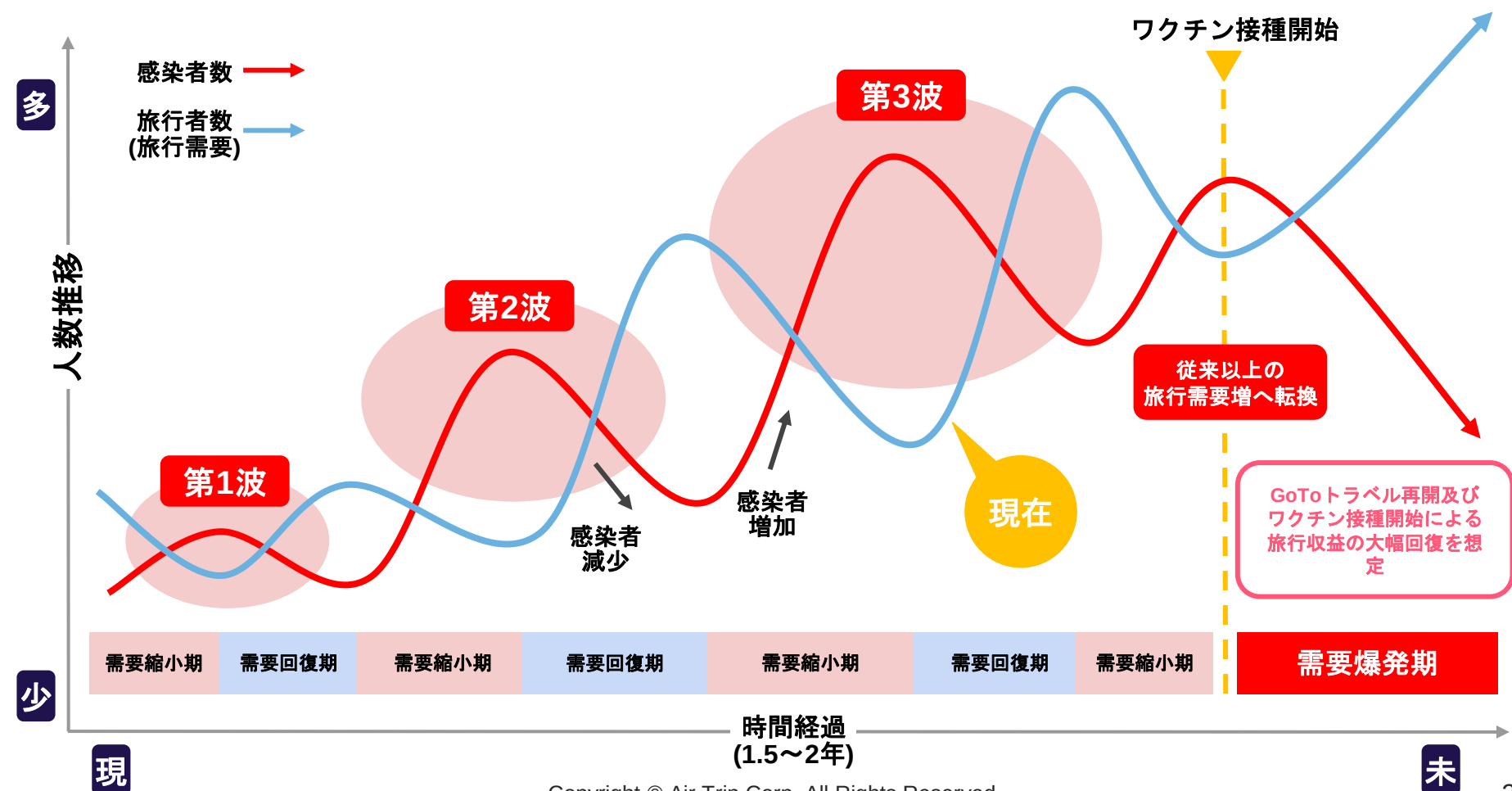
前期末減損計上で毀損した自己資本について 資金調達及び利益計上により回復

(百万円)

	FY20.4Q	FY21.1Q	増減額
流動資産	15,023	15,409	386
現預金	7,042	6,749	△293
営業投資有価証券等	4,359	4,777	418
非流動資産	6,916	6,747	△169
総資産	21,940	22,156	216
負債	19,402	18,916	△486
有利子負債	11,028	10,685	△343
資本合計	2,538	3,240	702
自己資本比率	11.5%	14.6%	3.1%

新型コロナウイルス影響に対する施策と成果

新型コロナ第3波や緊急事態宣言による一時需要減少も、GoToトラベル再開による爆発的な旅行需要増加を見込む ～需要の回復・縮小を繰り返し、ワクチン接種開始により需要増へ転換～



国内旅行領域はGoToトラベルも追い風となり好調に推移

～投資事業を中心に将来の利益創出に向けた各種施策を順調に推進

新規事業であるヘルスケア事業は、順調な立ち上げを実現し、事業成長を継続中～

GoToトラベル
東京都追加
(10/1)

4Q決算発表
(11/13)

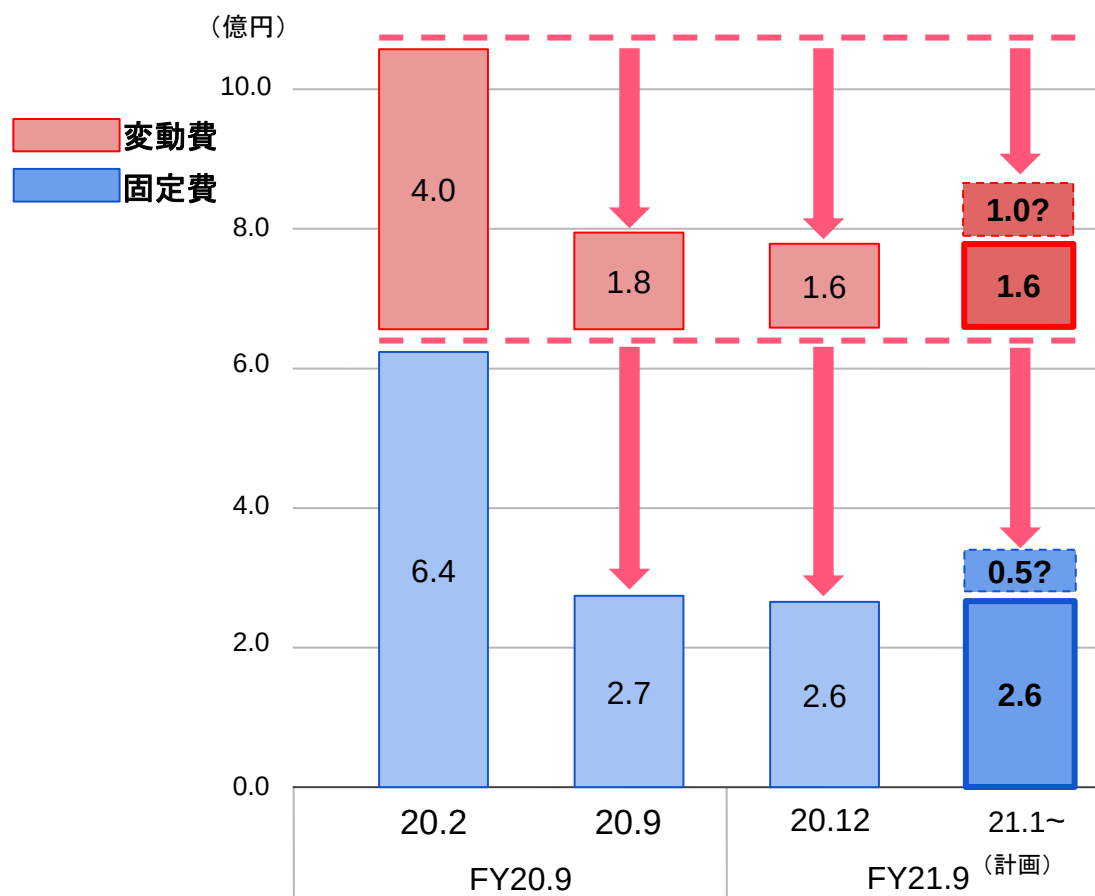
GoToトラベル
全国一時停止
(12/28)

緊急事態宣言発令
(1/7)

1Q決算発表
(2/12)

	10月	11月	12月	1月	2月 (見込)	3月 (見込)	4月～ (見込)
エアトリ旅行(国内旅行)	○	○	○	△	△?	△～○?	△～○?
エアトリ旅行(海外旅行)	×	×	×	×	×	×	×
ITオフショア開発事業	△～○	△～○	△～○	△～○	△～○?	△～○?	△～○?
訪日旅行事業／Wi-Fi事業	△～○	△～○	△～○	△～○	△～○?	△～○?	△～○?
ライフイノベーション事業	○	○	○	○	○?	○?	○?
ヘルスケア事業	○	○	○	○	○?	○?	○?
投資事業	◎	○	○	○	○?	○?	○?

固定費削減を継続しつつ、変動費及び広告宣伝費の最適化を図る ～国内旅行需要減少に伴う変動費及び広告宣伝費をコントロールし、 第1四半期では月間販管費を約4.5億円程度まで抑制～



変動費と広告宣伝費の最適化

変動費

国内旅行需要減少に伴うオペレーションボリュームに応じたコストコントロールを実施

広告宣伝費

粗利益に対する広告費比率の最適化を継続

人件費の抑制とその他固定費の見直し

人件費

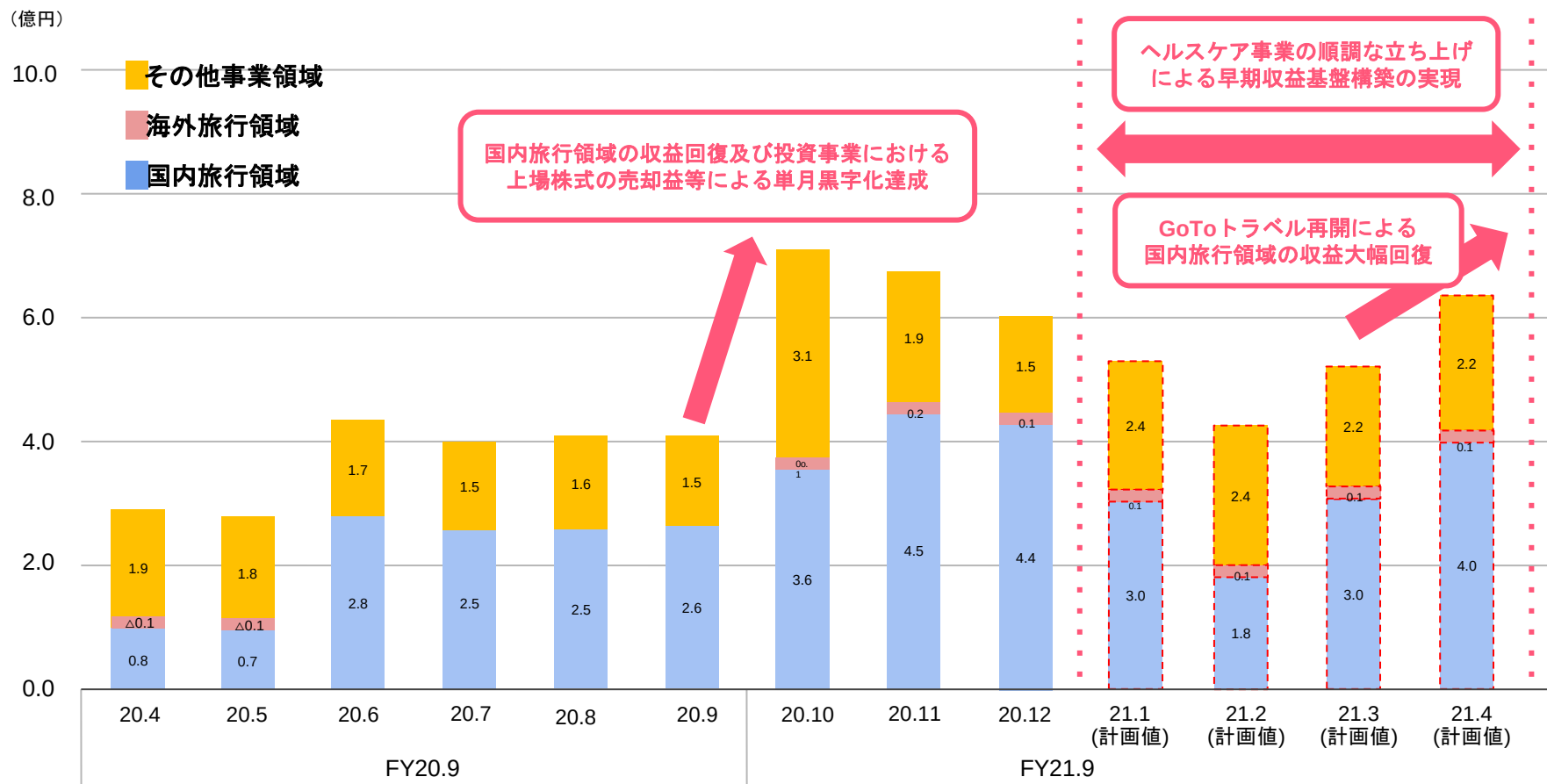
役員報酬(取締役・監査役)の一部返上の継続
休業(稼働日数抑制)による社員人件費の削減
雇用調整助成金制度活用による人件費の補填

その他固定費

選択と集中によるシステム開発体制の最適化
在宅勤務移行に伴うオフィス関連費用の削減
その他固定費(外注費等)の見直しの継続

粗利益は順調に伸長し、今期より単月黒字化を達成

～国内旅行領域の収益回復と投資事業における
上場株式の売却益により、第1四半期は順調なスタートを切る～



※当社グループ経営管理用の速報数値です。
※FY21.9より実績に投資事業を含めて記載しています。

FY21.9期 成長戦略「エアトリ2021”リ・スタート”」の実行により 業界の先陣を切り、第1四半期は営業黒字を達成!!

～業績が好調に推移し、期首業績予想から3度の上方修正を実施～
連結営業利益4.5億⇒10億円（+122.7%）の上方修正

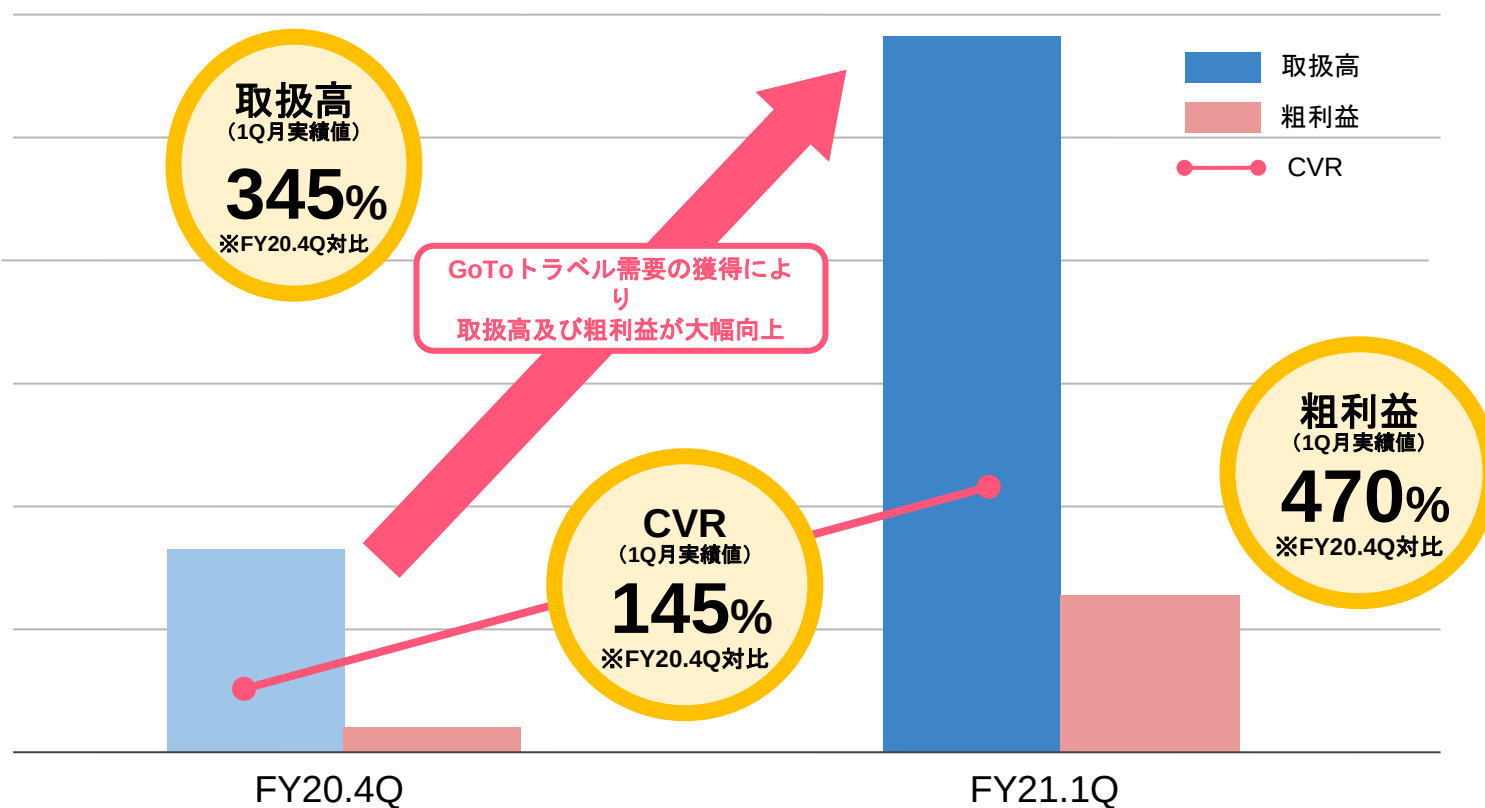
（百万円）

	FY21.9期 期首通期予想	FY21.9期 修正通期予想	FY21.9期 修正通期予想	業績予想における方針
取扱高	45,000	45,000	45,000	・ エアトリ旅行事業の収益回復 ・ 事業ポートフォリオの分散推進による事業収益の積み上げ ・ 成長領域への積極投資による収益
売上高	23,500	24,300	24,300	
営業利益	300	449	1000	
純利益	180	275	561	・ キャッシュアウトコスト抑制による増益
配当	-	-	-	・ 配当性向20%水準を目指す

※2021年1月5日に発表させていただいた通期の連結業績予想の修正数値に基づいております。

FY21.1Q 直近のアクションと成果

GoToトラベル需要の獲得により、取扱高及び粗利益が大幅増加!!
～前期4Q対比で、第1四半期の取扱高**345%**、粗利益**470%**、CVR**145%**達成～



※上記数値は、国内航空券＋ホテル、国内ホテル、国内ツアー(エヌズエンタープライズを含む)の帰着日基準の速報値でございます。

エアトリと奄美大島の鹿児島県瀬戸内町が観光協定を締結!! ～世界自然遺産登録を見据えた新たな旅行需要の創出で連携～



※写真は2021年1月7日(木)に瀬戸内町役場で行われた締結式の様子
(左から)鎌田瀬戸内町長と当社取締役の秋山

当社グループ会社のインバウンドプラットフォームにて 日本在留外国人向けのPCR検査関連情報の提供開始!!

～英語・中国語・韓国語・フランス語・スペイン語・ベトナム語に対応～

The screenshot shows a website banner for 'clinic nearme'. At the top left is the logo 'clinic nearme'. To its right is a 'Contact us' button with a phone icon, the number '03-6264-3639', and 'Business hours: 11:00~19:00 (Everyday)'. Further right is an orange 'Book Now' button. On the far right is a language selector button with a US flag icon and the word 'English'. The main content area has a light orange background with a blurred image of a person. On the left, a large green box contains the text 'Need a PCR test in Japan? Leave it to us!'. Below this is a list of services with checkmarks: 'Same day test available', 'Next day negative certificate issuance', 'Reception until 19:00', '3 minutes' walk from nearest Station.', and 'Payment by credit card / cash'. On the right, there are two white boxes with green borders. The top one says 'Available in English' with a headset icon and 'We can help you in any situation.'. The bottom one says 'Over 100 Countries' with a certificate icon and 'We have issued valid negative certificates.'

clinic nearme

Contact us 03-6264-3639
Business hours: 11:00~19:00 (Everyday)

Book Now

English

**Need a PCR test
in Japan?
Leave it to us!**

- ✓ Same day test available
- ✓ Next day negative certificate issuance
- ✓ Reception until 19:00
- ✓ 3 minutes' walk from nearest Station.
- ✓ Payment by credit card / cash

Available in English
We can help you in any situation.

Over 100 Countries
We have issued valid negative certificates.

新極真会「第52回全日本空手道選手権大会」 (2020年11月29日16時～テレビ東京にて放映) に協賛

～当社グループ会社まぐまぐ社（証券コード：4059）が運営する
ライブ配信サービス「まぐまぐ！Live」にて選手インタビューを無料配信～



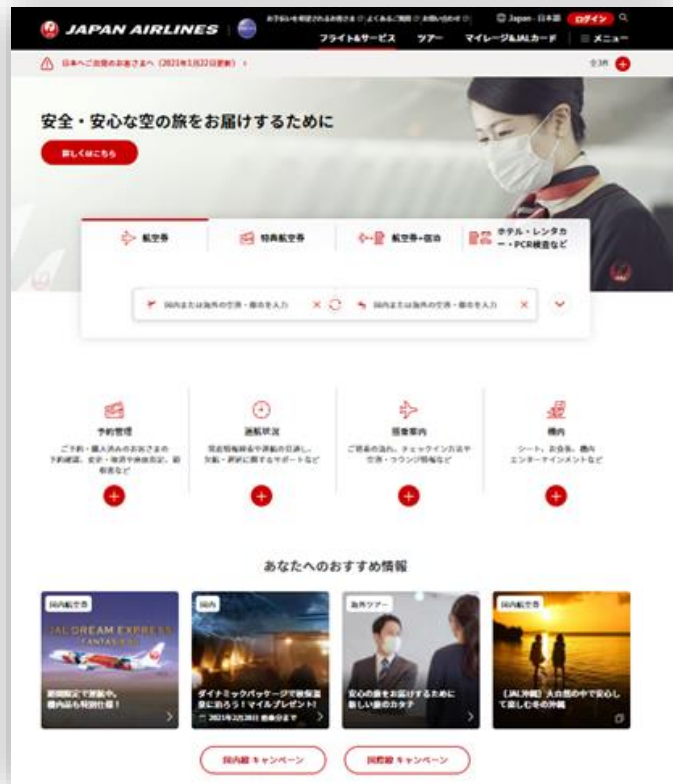
エアトリグループが提携するTケアクリニックにて PCR検査の年中無休の来院検査対応を開始!!

～年中無休及び土日祝の診察対応により、コロナ禍の不安解消を目指す～

The screenshot displays the homepage of T Care Clinic (Tケアクリニック). The header includes navigation links for 'よくある質問' (Frequently Asked Questions), 'お問い合わせ/Contact/联系我们' (Contact Us), and a '検査申し込み' (Request Test) button. A 'Language' dropdown menu is also present. The main content area features a navigation bar with 'TOP', 'クリニックについて' (About the Clinic), '検査キット(宅配)' (Home Delivery Test Kit), '来院検査' (In-clinic Test), and '訪問検査' (Home Visit Test). A central banner for '新型コロナウイルス PCR検査' (COVID-19 PCR Test) includes a photo of a doctor, the text '医療法人社団 大塚会監修' (Supervised by Daizuka Kai Medical Corporation), and a '自由診療' (Private Treatment) button. A red box highlights '厚生労働省が設ける検査証明機関に登録' (Registered as a testing certification agency established by the Ministry of Health, Labour and Welfare). The test fee is listed as '検査費用: 7,900 円 (税抜) ~ *10個セットの1個当たり' (Test fee: 7,900 yen (tax excluded) ~ *per item in a 10-item set). It also states '年中無休・土日祝も受診OK' (Open year-round, including weekends and holidays) and '当日検査予約可能 最短当日に結果通知' (Same-day appointment possible, results notified as early as the same day). The phone number '0120-985-717' is prominently displayed. Below the banner, a section titled '選べる“3つの検査”方法' (Choose from 3 testing methods) offers three options: '検査キット(宅配)' (Home delivery test kit), '来院検査' (In-clinic test), and '訪問検査' (Home visit test). Each option includes icons for PCR, antibody, and antigen tests, and a '詳細を見る' (View details) button.

JAL公式Webサイトにて、海外渡航者向けに エアトリグループが提供するPCR検査サービスを提携開始!!

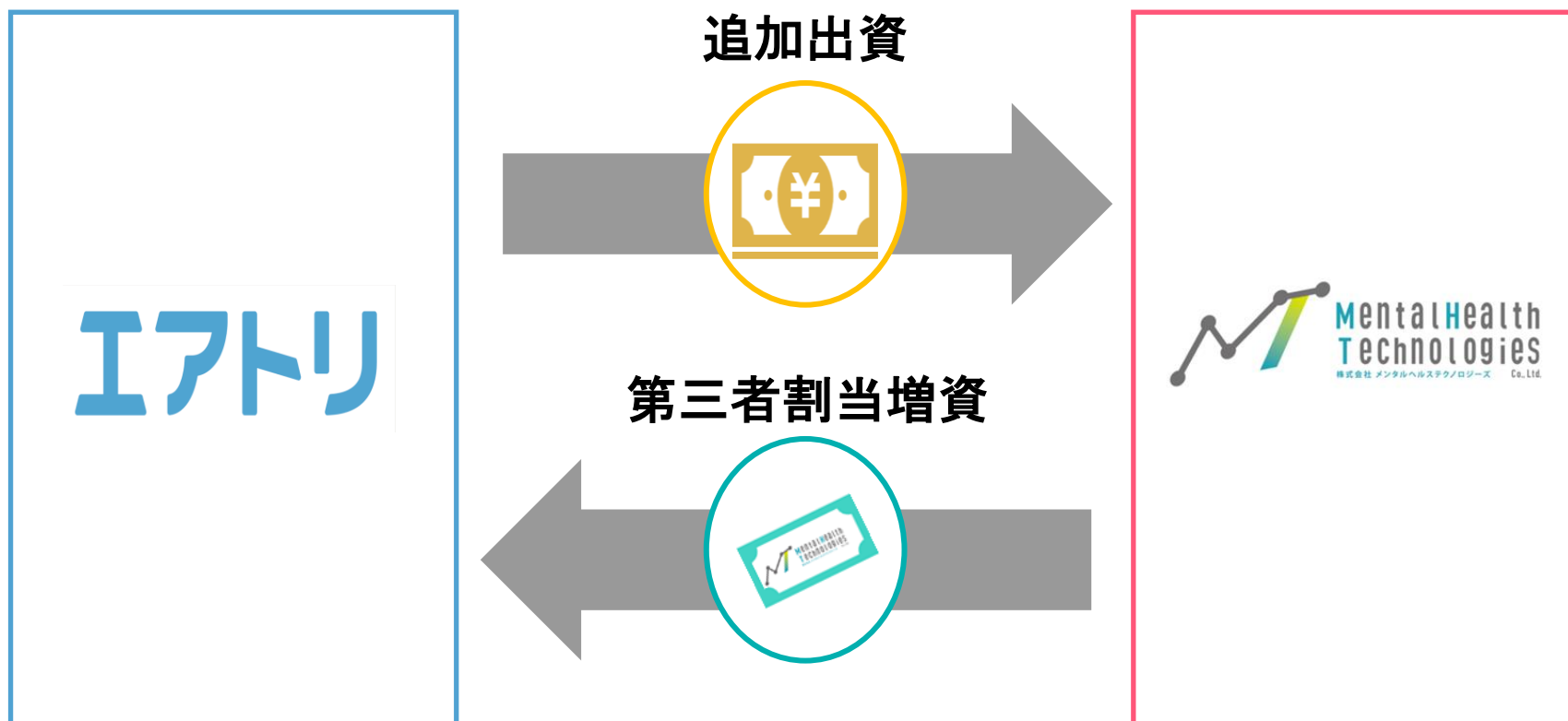
～JALをご利用のお客様へハワイや中国渡航用の陰性証明書を発行可能に～



投資事業

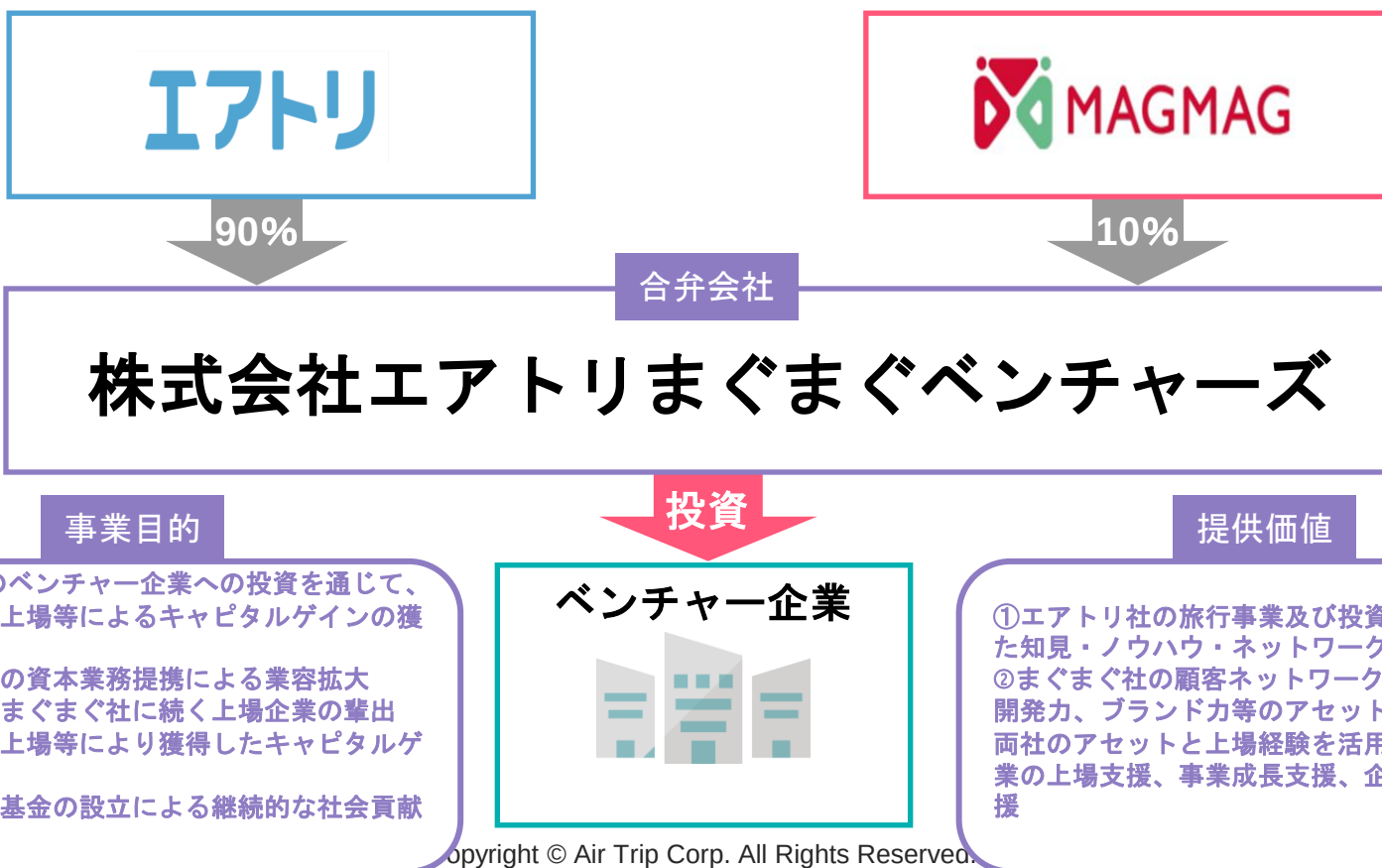
ヘルスケア事業

メンタルヘルスケア領域でクラウドサービスを展開する メンタルヘルステクノロジーズ社への追加出資を実施 ～当社ヘルスケア事業との連携を強化し、両社顧客へサービス提供開始～



エアトリと当社子会社のまぐまぐが投資事業における合併会社 「エアトリまぐまぐベンチャーズ」の設立合意!!

～両社のアセットと上場経験を活用してベンチャー企業の成長を支援～



成長戦略「エアトリ2021」

～”リ・スタート”～アフターコロナ時代の新成長戦略
～”エアトリグループは再始動する”～

上場から4年半を「第1ステージ」と位置づけ、
FY21.9期を「第2ステージの始まり」として”リ・スタート”
 ～約74億円の減損処理で身軽になり、引き続き「エアトリ5000」を目指す～

※ FY20決算説明資料にて発表 (2019.11.14付)

FY16 FY17 FY18 FY19 FY20
 (2016.3.31以
 降)

第1ステージ

上場後(2016.3.31)～FY20.9期(2020.9.30)まで

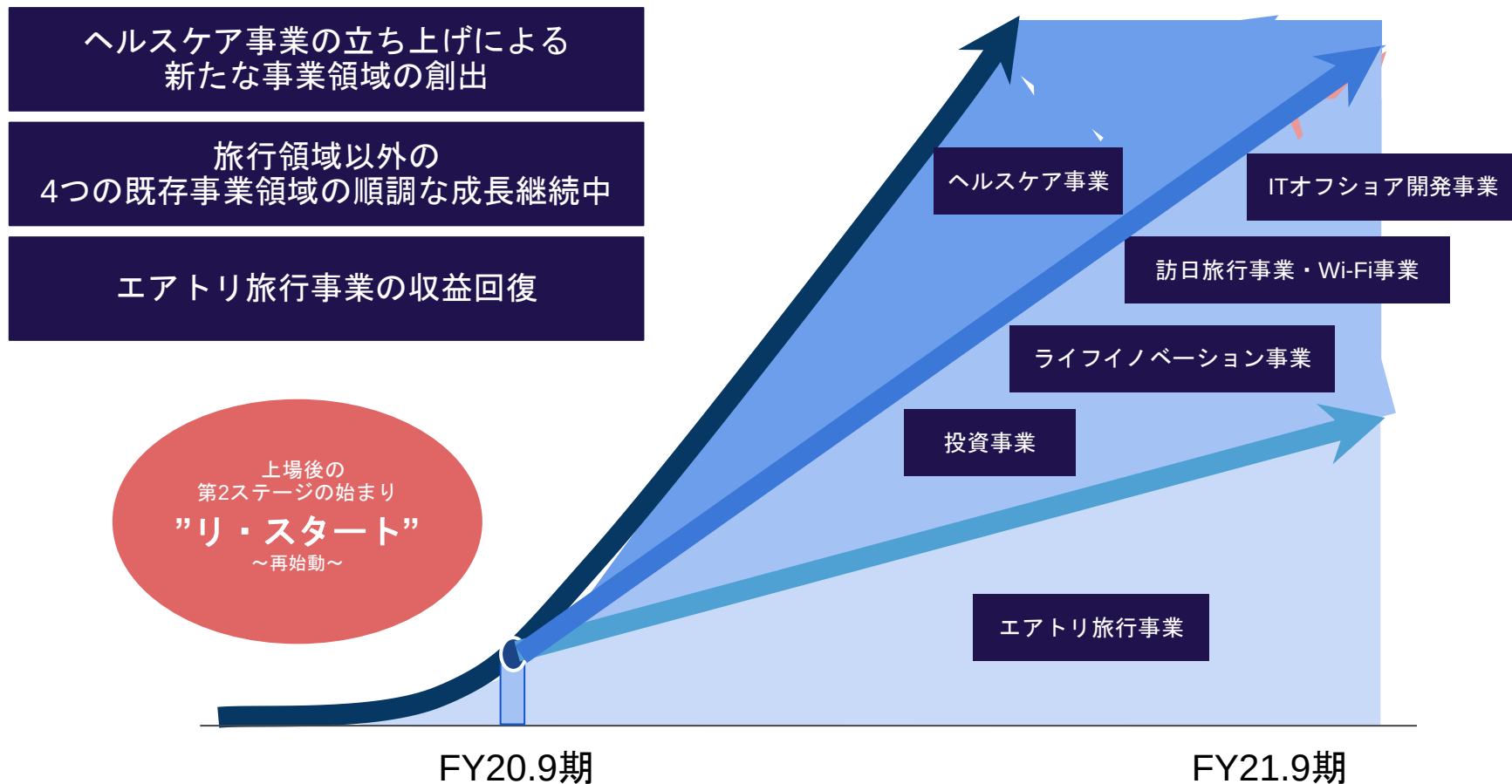
第1ステージに纏わる資産を整理し、身軽に

FY21～

第2ステージの始まり
 ”リ・スタート”
 ～再始動～

引き続き「エアトリ5000」を目指す

FY21.9期を「第2ステージの始まり」と位置づけ、「リ・スタート」

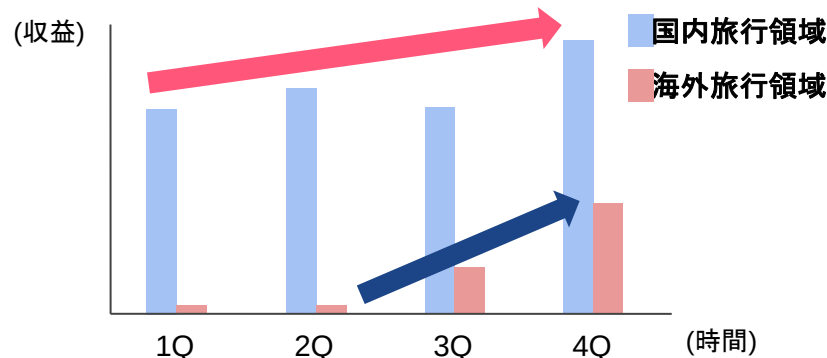


GoToトラベルの活用により国内旅行領域を中心に収益拡大 ～WEB動画広告を中心とした効果的なデジタルマーケティングにより 国内旅行需要の確実な取り込み～

エアトリ旅行事業の成長戦略

- 国内旅行領域は、GoToトラベルの活用で1Q～2Qは高成長を継続、3QはGWの旅行需要増、4Qは夏の旅行需要増により、年間を通じて収益拡大を目指す
- 海外旅行領域は、1Q～2Qは渡航制限により横ばい、3Qはビジネス渡航を中心に段階的な制限緩和による需要回復を想定し、4Qは東京オリンピック効果による海外航空券の需要が高まり、PCR検査とのクロスセル販売で収益回復を目指す

〈FY21.9 エアトリ旅行事業の想定収益推移〉



Copyright © Air Trip Corp. All Rights Reserved.

エアトリ旅行事業のアクションプラン

国内旅行

〈収益拡大に向けたGoToトラベルの活用施策〉

- GoToトラベルの全対象商材の販売強化
- 国内航空券と国内ホテルのクロスセル販売強化

〈CVR向上を実現する徹底的なUI/UX改善〉

- GoToトラベル利用ユーザーに最適なUI/UX設計
- アフターコロナの旅行需要を捉えたUI/UX提供

〈デジタルマーケティングによる需要取り込み〉

- Youtube動画広告による新規顧客の獲得
- GoToトラベル需要を見据えたSEM最適化

海外旅行

〈渡航制限緩和を想定した収益回復計画の策定〉

- 海外渡航規制緩和情報に応じた旅行情報の発信
- ビジネス渡航需要の獲得から旅行需要の獲得へ
- 海外渡航とPCR検査のクロスセル販売準備

アフターコロナ時代における多様な事業ポートフォリオ構築

～ライフイノベーション事業や投資事業を中心とした既存事業の成長継続と新たにヘルスケア事業の立ち上げによる多様な事業ポートフォリオを構築～

4つの既存事業と新規事業の成長戦略

- まぐまぐ社が運営するLive配信サービス「まぐまぐ! Live」の機能リニューアル及び多様なコンテンツ配信強化により、新規顧客の獲得と収益拡大を目指す
- ピカパカ社及びピカパカメディカルサービス社が展開する福利厚生事業領域のヘルスケアサービス(PCR検査予約代行サービス)では、検査手法(来院/訪問/宅配)の拡充と多様な集客手法・販売促進により、増加するPCR検査需要の獲得と収益基盤構築を目指す
- その他ITオフショア開発事業や訪日旅行事業では、アフターコロナでのニーズを的確に捉え、中長期の成長を見込める領域を中心に事業基盤構築を目指す

4つの既存事業と新規事業のアクションプラン

Live配信サービス

〈Live配信サービスの機能リニューアル〉

- ・ Live配信はアプリだけではなくPCでも可能に
- ・ 配信側・視聴側の双方のUXを追求した機能拡充

〈多様なコンテンツ配信により需要の取り込み〉

- ・ スポーツイベントの動画配信等コンテンツ拡充
- ・ ゲーム実況や大規模イベント等で新規顧客獲得

ヘルスケア事業

〈増加するPCR検査需要を満たすサービス拡充〉

- ・ 検査手法(来院/訪問/宅配)拡充による需要獲得
- ・ オンラインオフライン双方での集客・販売促進
- ・ 英語及び中国語での検査予約受付体制の構築

その他事業基盤

〈成長を見込める事業ポートフォリオの構築〉

- ・ アフターコロナでの新たな提供価値の検討
- ・ 注力する成長見込みのある事業領域の見極め



新たな事業基盤としてヘルスケア事業を新規立ち上げ

ライフイノベーション事業から切り出し、新規事業として立ち上げ



成長領域に対する戦略的・積極的な投資の継続

～アフターコロナで変化が想定されるビジネス環境を的確に捉え、
当社グループとのシナジーを重視した成長領域への積極投資を継続～

投資事業の成長戦略

- アフターコロナにおけるビジネス環境変化を的確に捉え、当社グループとのシナジーを重視した成長領域に対して、戦略的に積極投資を実施していく
- 戦略的投資の判断軸としては、①当社グループとのシナジーがどの程度見込めるか、②中長期的に成長が見込める事業領域であるか、③早期の利益貢献が見込めるかを中心に対象領域を見極める
- M&Aのターゲット選定からDD→交渉→成約→PMIまでの一連のプロセスを精度を高め、更なるプロセスの仕組み化とグループ化後の成長率向上を目指す

〈投資事業における戦略的投資の判断軸〉



投資事業のアクションプラン

戦略的 積極投資

〈アフターコロナ時代の投資戦略策定〉

- ・ アフターコロナのビジネス環境を的確に捉える
- ・ 対象領域の中長期の成長性と収益性を見極める
- ・ 投資により非連続な成長を描けるかを評価する

投資領域 の見極め

〈アフターコロナでの投資対象領域の特定〉

- ・ 当社グループとのシナジー効果を重視する
- ・ 成長を見込める事業領域であるかを見極める
- ・ 投資後の早期の利益貢献度を定量的に評価する

M&A後 の 成長率 向上

〈M&Aによるグループ化後の成長率向上を追求〉

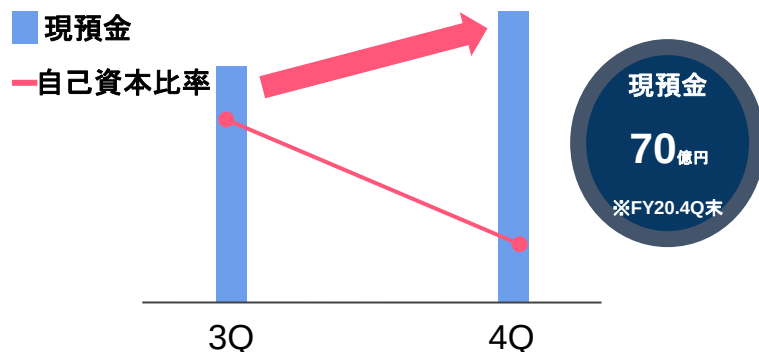
- ・ M&Aにおける一連のプロセスを仕組み化する
- ・ 経営陣のコミットにより、M&A成約率を高める
- ・ 精緻なDDにてシナジーの実現性を検証する
- ・ PMI精度を高め、M&A後の成長率向上を実現する

手元流動性は高い水準を継続維持 ～財務健全性は今期以降の改善を見込む～

財務戦略

- アフターコロナで不確実性が増すビジネス環境に対して、戦略的に手元流動性を高めることにより、高い健全性を維持していく
- 手元流動性を高めるアクションとして、①全社的なキャッシュアウトの削減、②グループ全体の手元現預金残高の見える化、③多様な資金調達手法による現預金の確保を中心に財務健全性向上を目指す

〈グループ連結の財務健全性推移〉



財務戦略のアクションプラン

財務戦略 の策定

〈アフターコロナ時代の財務戦略策定〉

- アフターコロナのビジネス環境を的確に捉える
- 財務健全性向上に向けて手元流動性を高める
- 成長に向けた財務余力と投資余力を高める

流動性 向上策

〈財務健全性維持に向けた手元流動性向上施策〉

- 全社的なキャッシュアウトを抑制する
- グループ全体の手元現預金を見える化する
- 多様な調達手法による資金調達の検討

中長期 の施策

〈手元流動性向上に向けた中長期の施策〉

- 旅行領域への依存度を相対的に引き下げる
- 主要子会社2社(IPC・HT)は上場準備を継続する
- 成長投資により、新たな収益基盤を構築する

株主還元

今期配当金は現状未定だが、 配当性向20%水準を目指す

(百万円)

	FY21.9期 期首通期予想	FY21.9期 修正通期予想	FY21.9期 修正通期予想	業績予想における方針
取扱高	45,000	45,000	45,000	・ エアトリ旅行事業の収益回復 ・ 事業ポートフォリオの分散推進による事業収益の積み上げ ・ 成長領域への積極投資による収益
売上高	23,500	24,300	24,300	
営業利益	300	449	1000	・ キャッシュアウトコスト抑制による増益
純利益	180	275	561	
配当	-	-	-	・ 配当性向20%水準を目指す

新型コロナウイルスの影響を踏まえ、 株主優待の内容をエアトリポイントのみに昨年より変更中

株主の皆様のご理解により、エアトリポイントを国内航空券・国内ホテルに多くご利用頂いたことにより、業績回復に一部貢献を頂いております。
株主の皆様のご理解・ご支援に心より感謝申し上げます。

国内航空券・国内ホテルの購入でたまる・つかえるポイントです

1ポイント=1円 **有効期限3年**



保有株式数		進呈ポイント数 ／初年度	進呈ポイント数 ／1年以上保有 (注)
以上	未満		
500	600	8,000pt	8,800pt
600	700	11,000pt	12,100pt
700	900	13,000pt	14,300pt
900	1000	16,000pt	17,600pt
1000	2000	18,000pt	19,800pt
2000	5000	20,000pt	22,000pt
5000		25,000pt	27,500pt

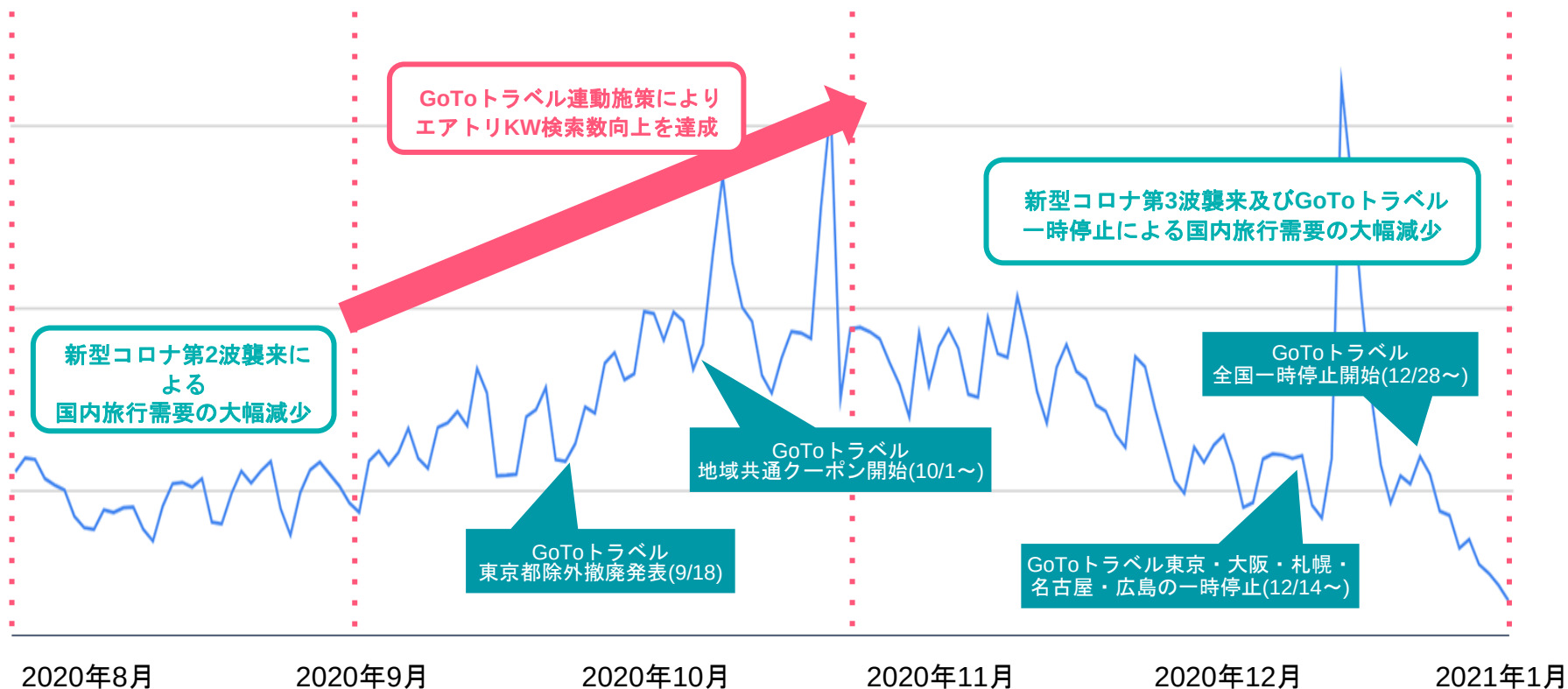
- FY21.9期 第1四半期の業績は、取扱高は103億円、売上高65.6億円、**営業利益7.6億円**
● 今期を第2ステージ「リ・スタート」元年と位置づけ、成長戦略「エアトリ2021”リ・スタート”」
の実行により業界の先陣を切り、第1Qは四半期会計期間での**営業利益が過去最高を達成**
- エアトリ旅行事業においては、前期までの施策の成果、さらにGoToトラベルが追い風となり、国内旅行領域を中心に収益及び利益が大きく回復
● 旅行領域以外の既存事業領域においては、ヘッドウォータース社の上場による利益の実現、
メンタルヘルステクノロジーズ社への追加出資やラストワンマイル社・TRUST社への資本参加等、
投資事業を中心に将来の利益創出に向けた各種施策を推進し、順調な成長を継続
- 昨期より新たに開始したヘルスケア事業においては、急増するPCR検査等の需要の取り込みによ
り、順調な事業立ち上げを実現し、足元ではテレビCM等による大規模プロモーションにより、
更なる事業成長を推進
- 現在、新型コロナ感染拡大及び緊急事態宣言による旅行需要への影響が出ているものの、当社の
強みとなる事業展開ノウハウ、マーケティングノウハウ、システム開発力、ブランド力、顧客基
盤等のアセットの活用による**事業ポートフォリオの分散**が進み、**エアトリ経済圏の構築**を実現
- 今後、コロナ収束に伴う国内・海外旅行需要の回復やGoToトラベル再開によるエアトリ旅行事業
の大幅な収益及び利益回復、旅行領域以外の4つの既存事業領域の順調な成長継続と新規事業領域
であるヘルスケア事業の更なる事業成長といった**事業ポートフォリオの分散推進による事業収益**
の積み上げにより、**再始動したエアトリグループは終わりなき成長を目指す**

Appendix

FY21.1Q 事業進捗

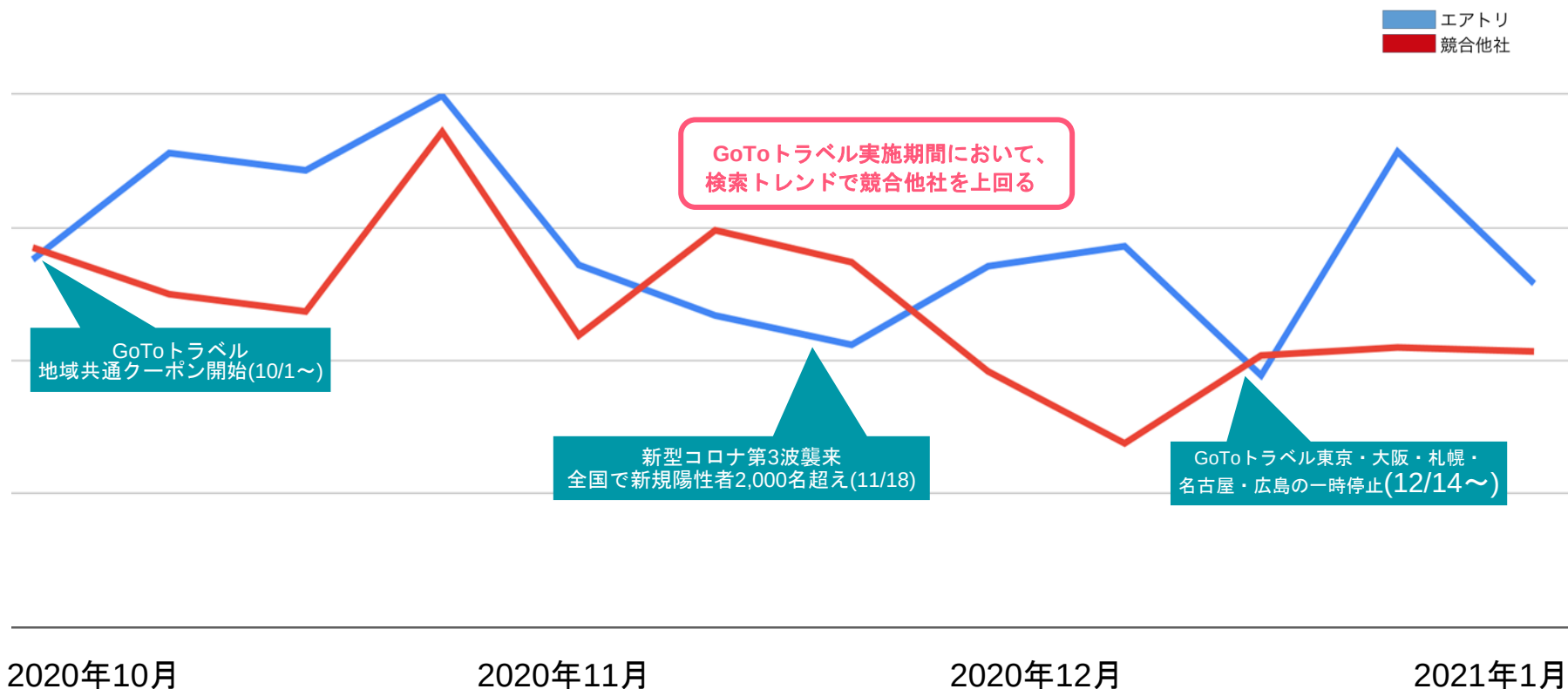
GoToトラベルに連動した各種マーケティング施策を実行し、 「エアトリ」キーワード検索数の大幅向上を達成!!

～旅行需要の変化及び政府の報道に沿ってGoToトラベルと連動した施策を推進～



「エアトリ」認知度底上げにより、GoToトラベル実施期間で 検索トレンドで競合他社を上回る

～10月から12月の検索トレンドで競合他社より上位をキープ～



「エアトリ GoToトラベルキャンペーン」施策を展開

～顧客とのコミュニケーションチャネルでGoToトラベルと連動した最適な施策を推進～

オフライン広告

交通広告



各種協賛

新極真会
ボクシング

デジタルマーケティング

WEB-CM



Facebook 広告



Google 広告



Yahoo広告



LINE広告



会員向け施策

メルマガ 訴求



アプリ訴求



当社提携クリニックであるTケアクリニックのPCR検査について テレビCM放映及び交通広告を開始!!

【テレビCM】

自宅で出来るPCR検査キット 10回セットなら 5,900円税別
1回あたり

**Tケア
クリニックからの
お知らせです。**

Tケアクリニック フリーダイヤル 0120-985-717

自宅で出来るPCR検査キット 10回セットなら 5,900円税別
1回あたり

**PCR検査は
ご自宅で
受けられます。**

Tケアクリニック フリーダイヤル 0120-985-717

自宅で出来るPCR検査キット

検査10回セット **59,000円税別**
1回あたり 5,900円税別

検査1回 **9,900円税別**

Tケアクリニック フリーダイヤル 0120-985-717

自宅で出来るPCR検査キット

**Tケア
クリニック**
0120-985-717

来院検査・訪問検査も受付中！
Tケアクリニック 検査
(24時間受付中)

名管理理長・名管理理長
柳島 基元

【交通広告】

Tケアクリニックの自宅でPCR検査

来院不要の宅配検査
国立感染症研究所認定
機器による検査で安心

検査10回セット (1回あたり) **5,900円税別**
検査1回 **9,900円税別**
10回セット購入 59,000円税別 / 陰性証明書付き+5,000円税別

●ご自宅OK ●唾液採取のみで簡単 ●結果はメールでお知らせ

※本検査の精度は、検査結果の正確性・完全性を100%保証するものではありません。検査適用外の自由診療（全額自己負担）です。
※郵送検査で陽性証明書の発行の場合はオンライン診療が必要になります。
※1陽性証明書の請求が必要となります。

名管理理長・名管理理長
柳島 基元

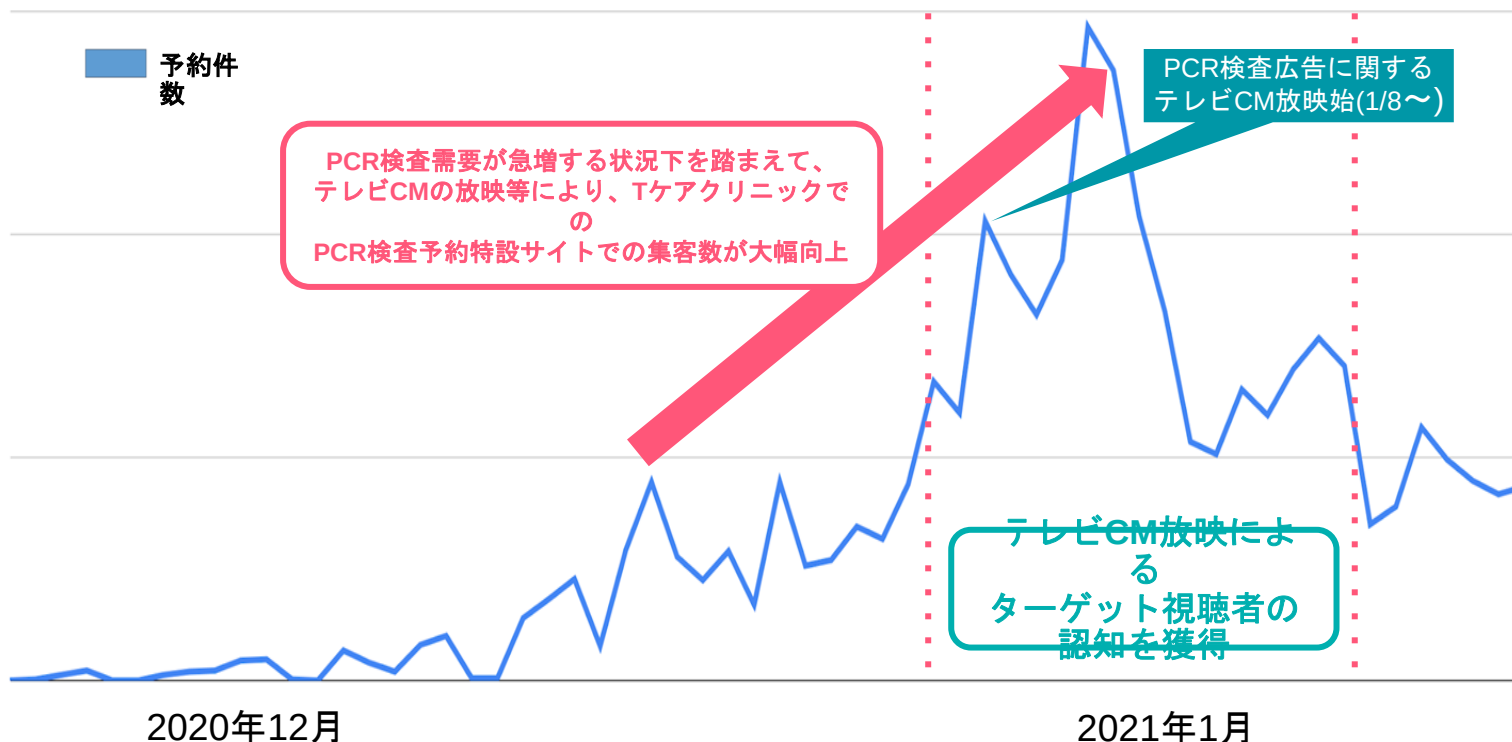
医療法人社団大塚会監修
Tケアクリニック
〒105-0013 東京都港区浜松町2-13-9 G-1ビル2階
厚生労働省の定める海外渡航者向け
新型コロナウイルス検査証明機関に登録済

選べる3つの受診方法
宅配 訪問 来院

フリーダイヤル 0120-985-717
(24時間受付)
Tケアクリニック

PCR検査需要が急増する状況下でのテレビCM放映により 当社提携クリニックでのPCR検査予約件数が大幅向上

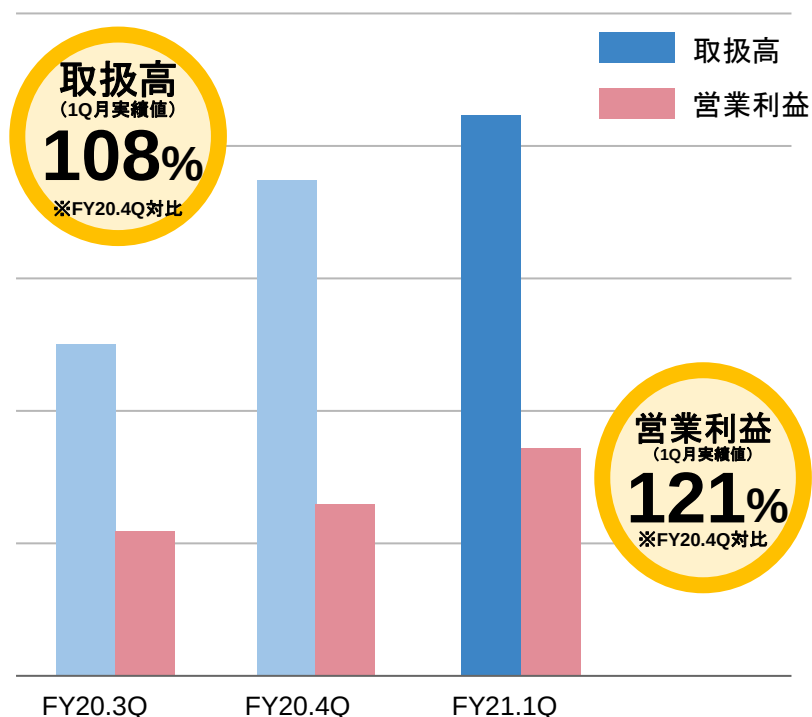
～テレビCM放映等の施策で急増するPCR検査需要の確実な取り込みを実現～



※来院検査及びPCR検査キット(宅配)のWEB経由の予約件数となります。

国内旅行需要増加により、取扱高及び営業利益が回復傾向 ～前期4Q対比で取扱高**108%**、営業利益**121%**の回復～

＜エアトリ国内航空券の取扱高/営業利益の推移＞



国内旅行需要の増加による取扱高回復

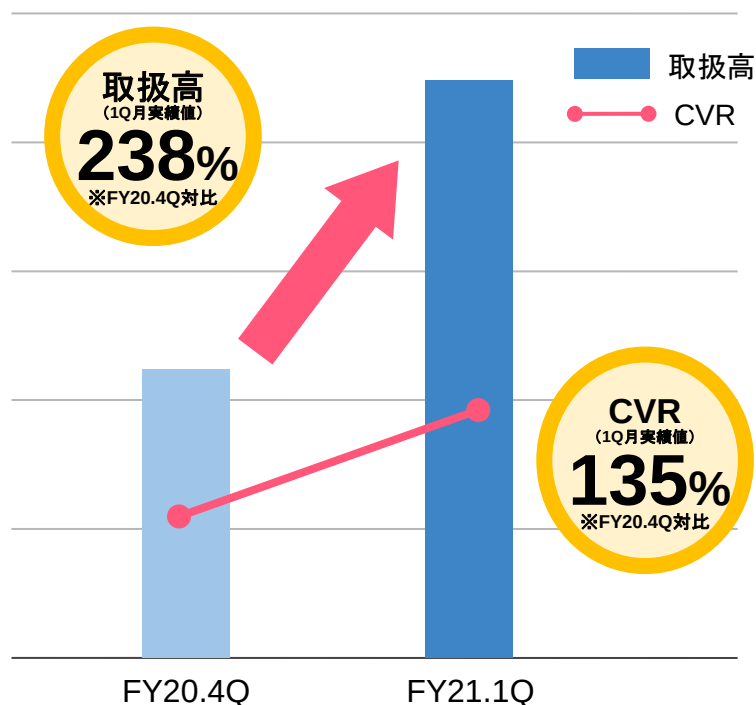
GoToトラベル効果での国内旅行需要の増加により、国内航空券の取扱高回復が進む

変動費の大幅削減により、営業利益向上を実現

国内旅行需要の増減に応じて、オペレーション費用や広告費等の変動費をコントロールし、損益分岐点の引き下げを実現

GoToトラベル効果による取扱高大幅増加 ～前期4Q対比で取扱高**238%**、オーガニックCVR**135%**を達成～

＜エアトリプラス(航空券+ホテル)の取扱高/CVRの推移＞



GoToトラベル効果で航空券+ホテルの取扱高向上

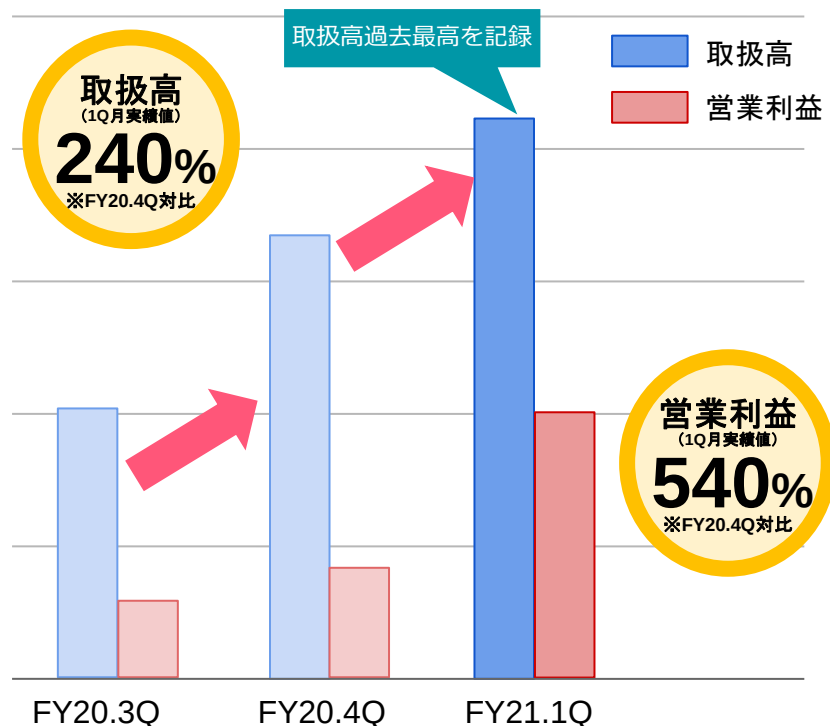
引き続きGoToトラベル効果により、航空券+ホテルの取扱高が大幅増加を達成

オーガニックCVRは高成長を継続

地域共通クーポンの取り扱いに適したUI/UX改善により、オーガニックCVRは高成長を継続

GoToトラベルと東京都民割効果に加え UI/UX改善の継続により、取扱高及び営業利益過去最高を達成 ～前期4Q対比で取扱高**240%**、営業利益**540%**を達成～

＜エアトリ国内ホテルの取扱高/営業利益の推移＞



GoToトラベルと都民割の相乗効果で過去収益達成

GoToトラベルと東京都民割の相乗効果により急増する宿泊需要を確実に取り込み、国内ホテルの取扱高及び営業利益が過去最高を達成

本質的なUI/UX改善の継続でCVR向上を実現

ユーザーの利便性を追求したサイト改善を継続しつつ、航空券やその他商材との併売導線の新規追加により、恒常的なCVR向上を実現

引き続きGoToトラベル及び東京都民割利用の 宿泊需要の獲得に向けた様々な施策を実施

～GoToトラベル再開を見据えて、お客様目線で徹底的な改善を推進中～

エアトリ厳選施設の
仕入及び販売強化

JR東日本ホテルズ・プリンス
ホテル・東急ホテルズ・京急
イーエックスインとの販売契
約締結による更なる仕入及び
販売強化を推進

更なる宿泊需要の獲得
に向けたUI/UXの改善

TOPページの刷新、GoToト
ラベル及び東京都民割再開を
想定したサイト改善による利
便性の向上により、更なる宿
泊需要獲得を目指す

お客様目線に立ち
新機能追加によるCVR改善

サイト内での多様な選択肢の
中から宿泊施設の探す際の顧
客ジャーニーを徹底的に分析
し、最適な新機能を導入し、
CVR改善を目指す

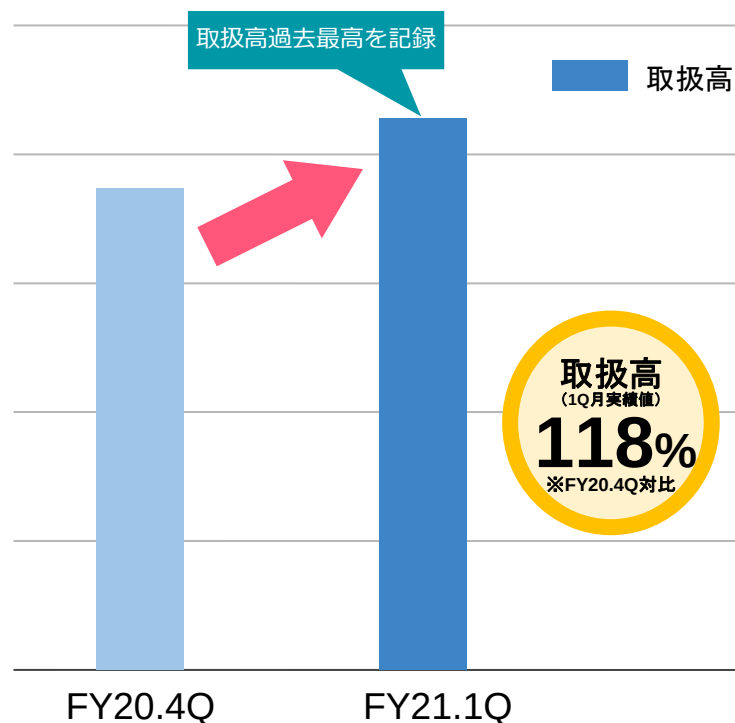
販売チャネルの多様化による
新たな潜在顧客の獲得

航空券や新幹線とのクロスセ
ルや法人向けへの販売チャネ
ルの多様化・強化により、こ
れまで接点の薄かった潜在顧
客へアプローチ



エアトリ国内ツアーとエヌズ・エンタープライズにて 沖縄を中心とした商品造成により、取扱高大幅増加 ～今期1四半期で過去最高の取扱高を達成～

＜エアトリ国内ツアーの取扱高の推移＞



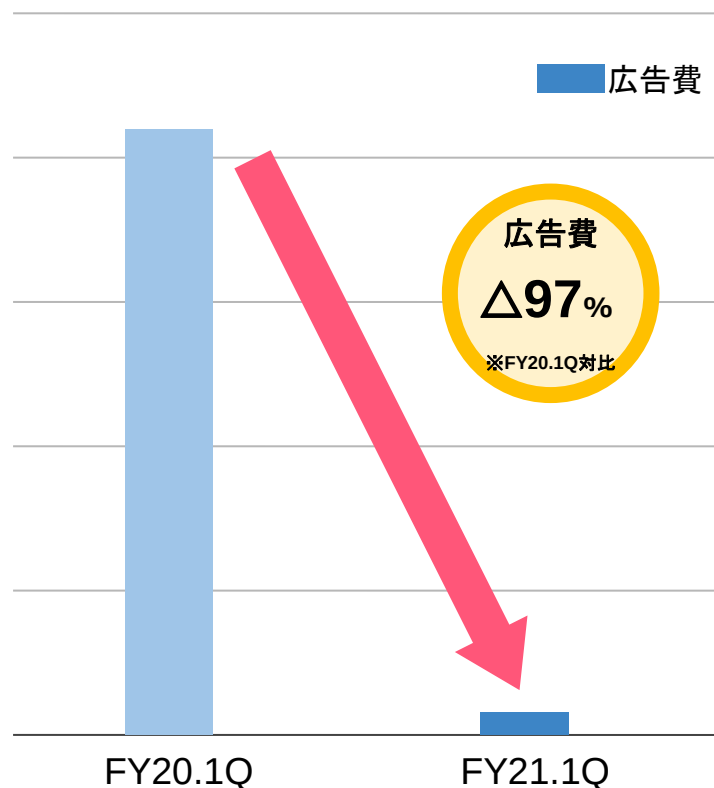
＜エアトリ国内ツアーでエアトリダイビングページの開設＞

沖縄本島・宮古島・奄美大島のダイビングやシュノーケル付きプランの販売専用ページを開設し、今後更なるプランやエリアの拡充を推進



徹底的なコスト削減の継続により、コロナ影響を最小化 ～広告費運用の最小化により、前期1Q対比で**97%**削減を達成～

＜海外旅行領域の広告費比較＞



マーケティングコストの最小化と再開の準備

有料広告出稿の停止を継続しつつも、本国及び世界各国の動向に注視し、出稿再開を準備

マーケット状況を鑑みた最適なプライシング

日々のユーザー動向から適正な価格帯を精査し、状況に応じた最適なプライシングを実施

コスト削減余地の精査・更なる固定費の削減

前期4Qのコスト削減実績をベースに業務内容の見直しを行い、更なる固定費の削減を実施

エアトリサイトでのPCR検査のクロスセル販売開始 ～海外渡航の際に必要な陰性証明書の発行も順次対応可能に～



エアトリ海外予約サイトでPCR検査の販売開始!!

海外渡航時に受診が必要となるPCR検査の販売を開始し、来院検査だけではなく宅配検査の対象商品化により、日本全国のお客様が検査受診可能に

諸外国への入国に必要な陰性証明書を発行可能に

2020年11月のハワイへの渡航制限の緩和以降、陰性証明書の発行数が増加しており、中国・韓国などアジア圏をはじめ、対応エリア拡大を推進中

ハワイ入国の規制緩和を受けて、渡航前のPCR検査受診から出発までのワンストップのサービスを提供開始



当社提携クリニックとの連携したサービスの提供

ハワイ州指定のPCR検査指定医療機関として、当社提携クリニックが認定されたことを受けて、渡航前からのワンストップのサービスを提供

取消規定の10日前の事前確認フローを構築

取消料がかかる10日前に電話又はメールでの事前確認のオペレーションフローを構築したことにより、先の日程でも安心して予約可能に

開発案件の新規受注件数 順調に増加

新規受注数

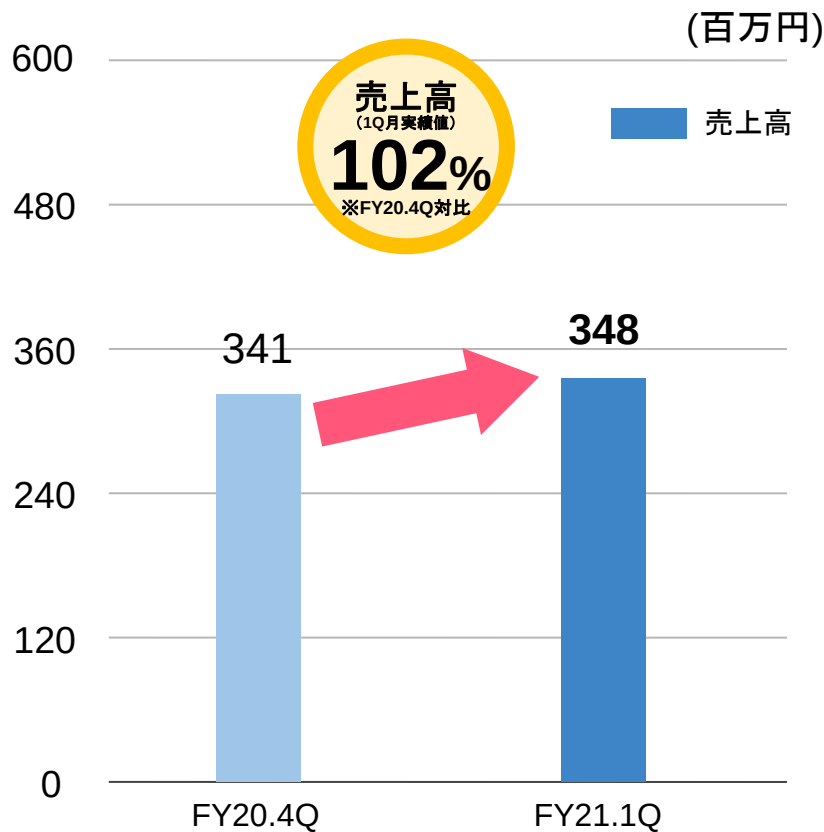
6社



他5社

ハイブリッド型開発による東南アジア日系オフショア開発 No.1

～売上高 前期4Q対比**102%**を維持～



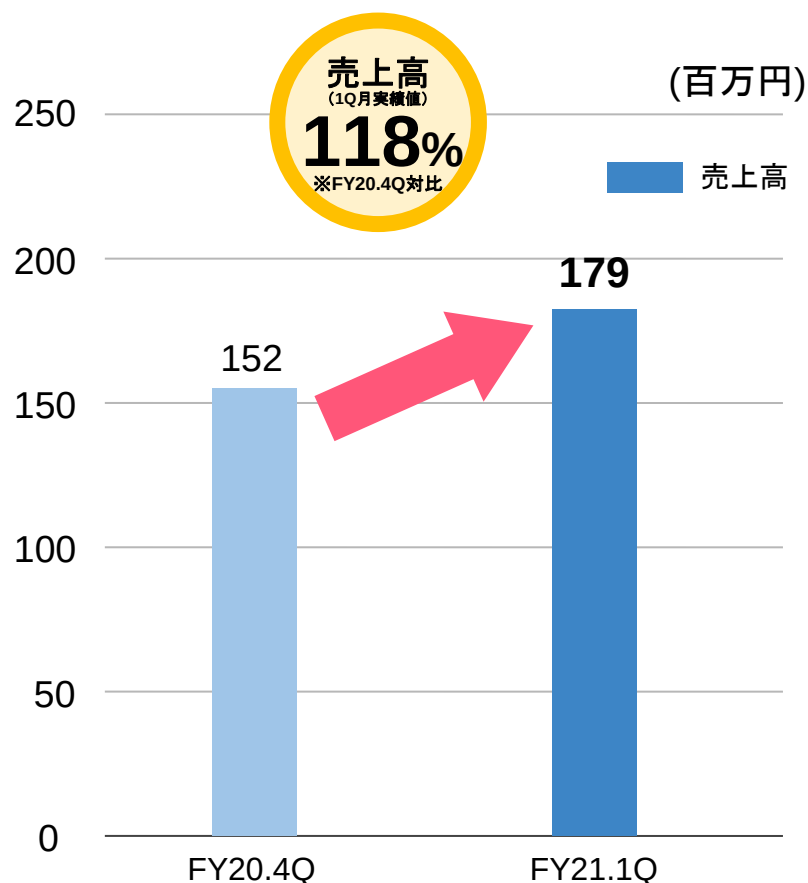
受注件数を積み上げ、上場準備を進行

前期施策の継続による獲得リードの着実なCVを継続しつつ、株式上場に向けて一層の売上伸長を目指す

業務提携を機にEdTech分野に進出

教育業界大手のKEIアドバンス社との業務提携によって、当社のAIモデル構築の技能を教育と融合し、当社の更なる知見の向上と教育現場のDX促進の好機としていく

国内リモートワーク需要増加と外国人向けメディアの好調により伸長 ～売上高 昨年4Q対比**118%**の達成～



Wi-Fi事業における法人需要増

国内でのリモートワーク需要の増加により、引き続き法人需要が堅調に推移

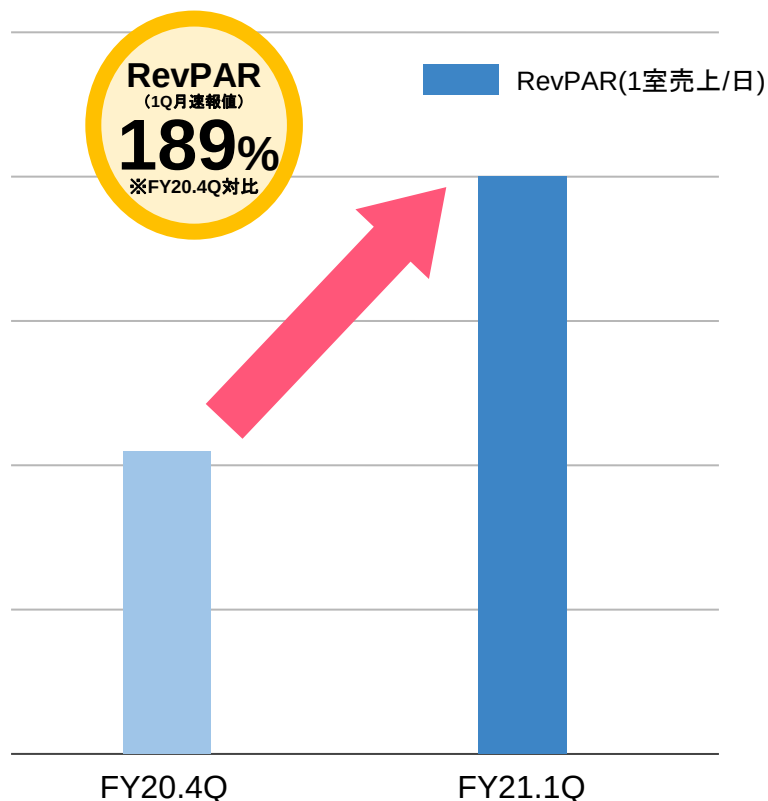
外国人向けメディアが好調な推移

外国人向けにPCR検査関連の情報発信、予約プラットフォーム事業が大きく伸長した

固定費の削減及びコスト効率化

仕入コストの低減、固定費の削減により引き続きコスト効率化を実現

管理物件の品質向上により、RevPAR(1室売上/1日)を大幅向上 ～RevPAR 前期4Q対比**189%**を達成～



内装デザイナーとの提携し管理物件の内装を一新

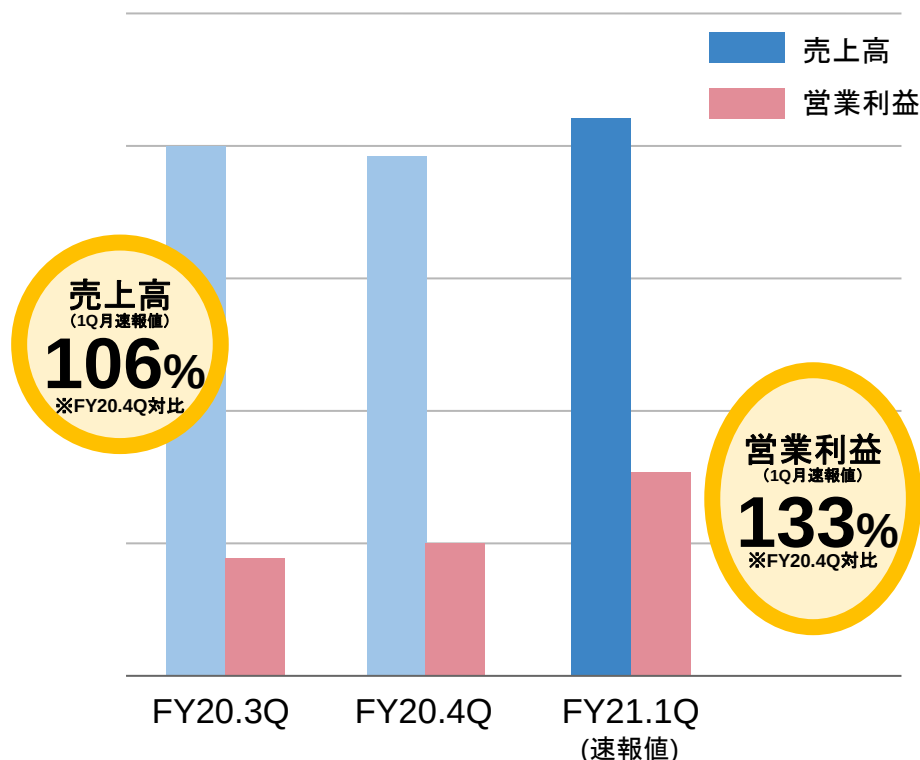
内装デザイナーとの提携で社内デザイン力を向上させ、実施工及び家具配置までを監修しADR（宿泊単価）を前期4Q対比140%を達成

GoToトラベルの早期適用で国内需要を獲得

素早い対応で早期予約から需要を獲得。キャンセルも多数あったものの、結果的にOCC（物件稼働率）前期4Q対比135%を達成

上場後も「まぐまぐ!Live」等のプラットフォーム事業を 主軸とした事業推進により、売上高及び営業利益が増加 ～前期4Q対比で取扱高**106%**、営業利益**133%**を達成～

※
＜まぐまぐ社の売上高/営業利益の推移＞



プラットフォーム事業を主軸に事業拡大継続中

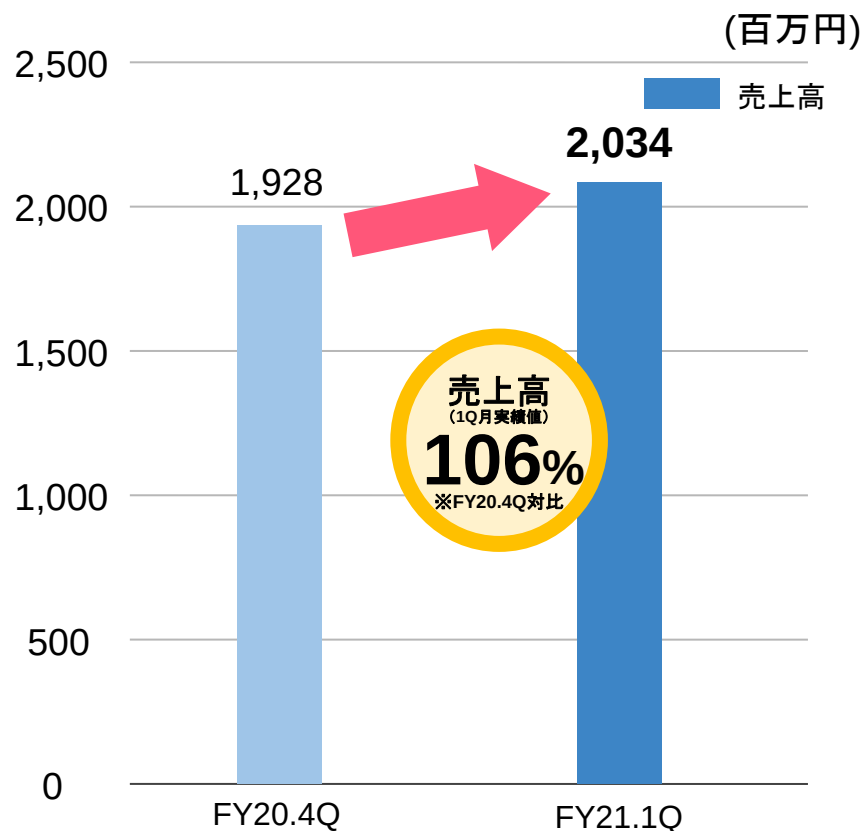
上場後もメルマガ及びライブ配信サービスを中心に
新機能の拡充や利便性向上による更なる有料会員増
加を見込む

メディア広告事業でのオウンドメディアの強化

新規ライターの獲得や外部メディアとの提携記事
の掲載を継続により、オウンドメディアメディア
の強化を促進し、事業成長の起爆剤とする

※上記の1Q業績は現時点の速報値であり、実際の業績とは異なる
可能性がございます。

季節性のある商品の訴求により、堅調な売上高を維持 ～売上高 前期4Q対比で**106%**を達成～



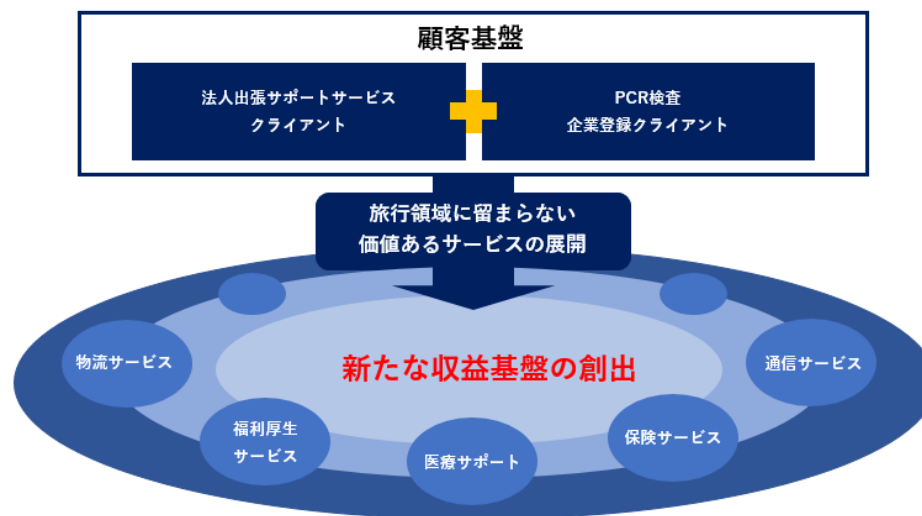
季節性のある商品の販売強化による売上増加

年賀状等の季節性のある商品販売強化と市況を鑑みた価格設定により、堅調に売上を積上

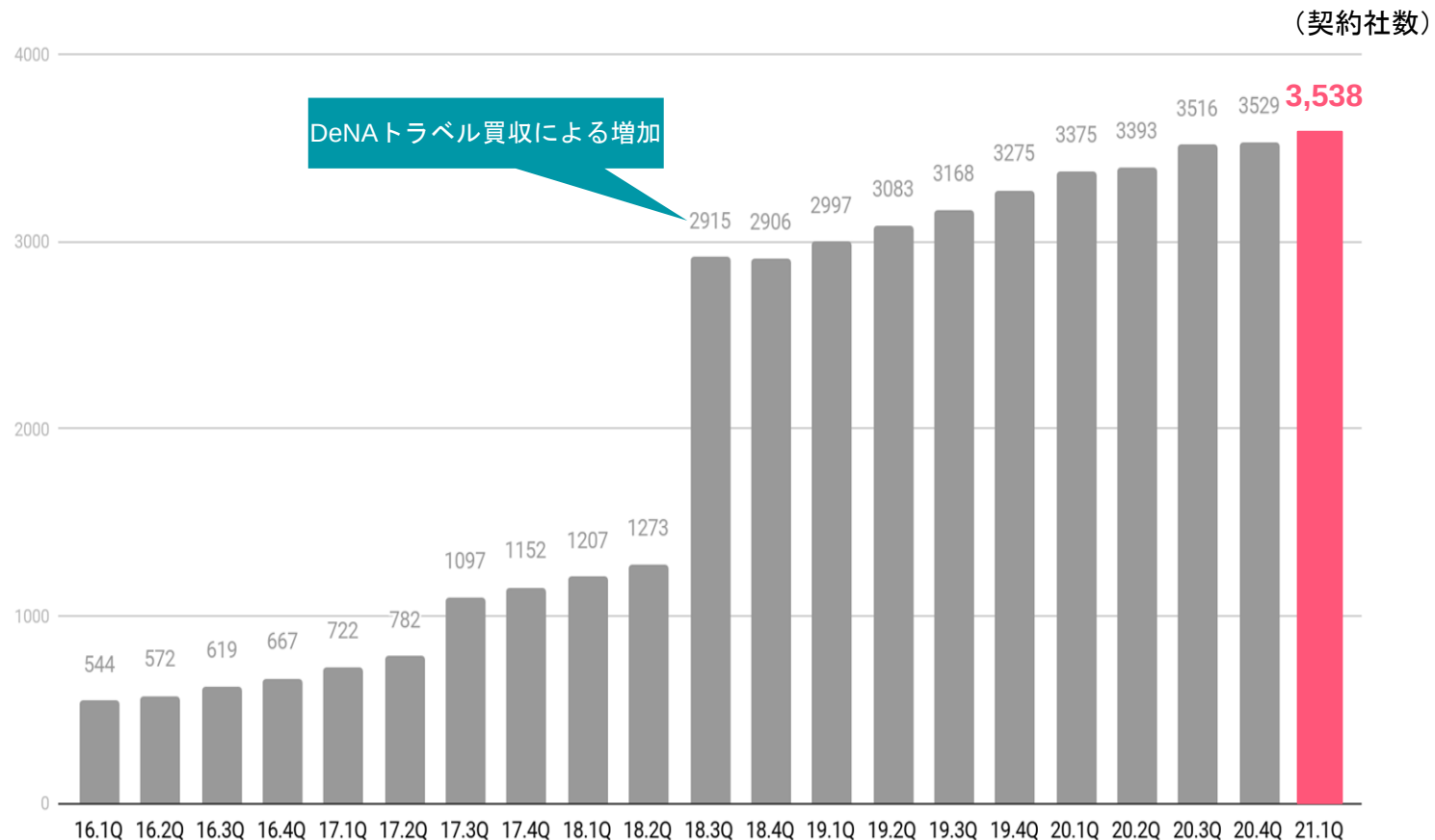
店舗の採算性に応じたコストの抑制の継続

不採算店舗の閉鎖、休業等による固定費の削減によりキャッシュアウトコストの抑制を継続

2021年1月1日付けで、株式会社エアトリBTMから 株式会社ピカパカへ社名変更 ～福利厚生事業として、法人出張サポートサービスと ヘルスケアサービスにより一層注力～

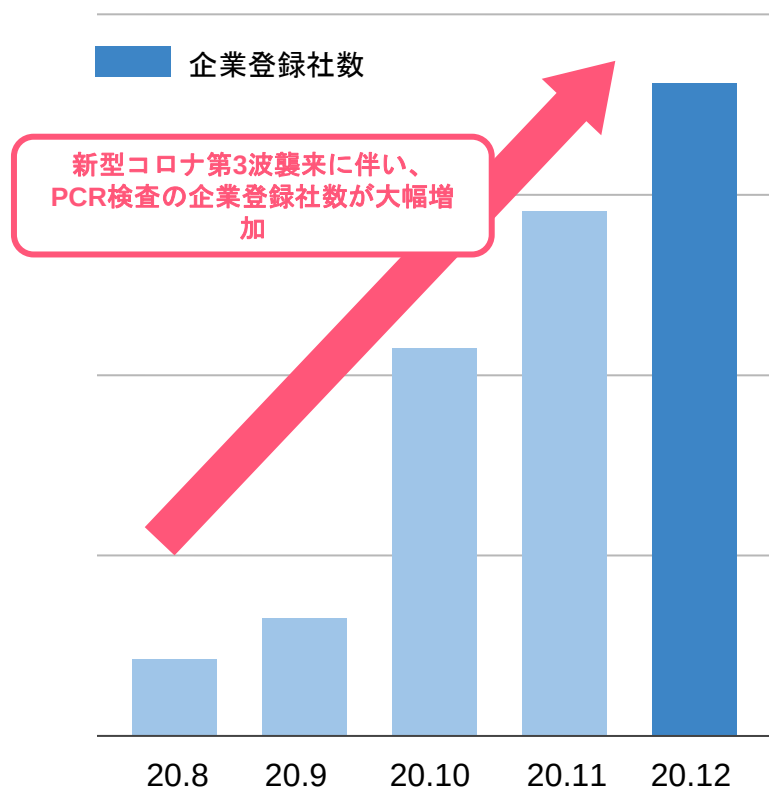


法人出張サポートサービスのクライアント数 コロナ影響で契約社数鈍化も堅固な取引基盤は変わらず健在



PCR検査を希望する企業の登録社数は引き続き増加傾向 ～企業ニーズに応じた検査方法により、PCR検査需要を確保～

＜PCR検査の企業登録社数の推移＞



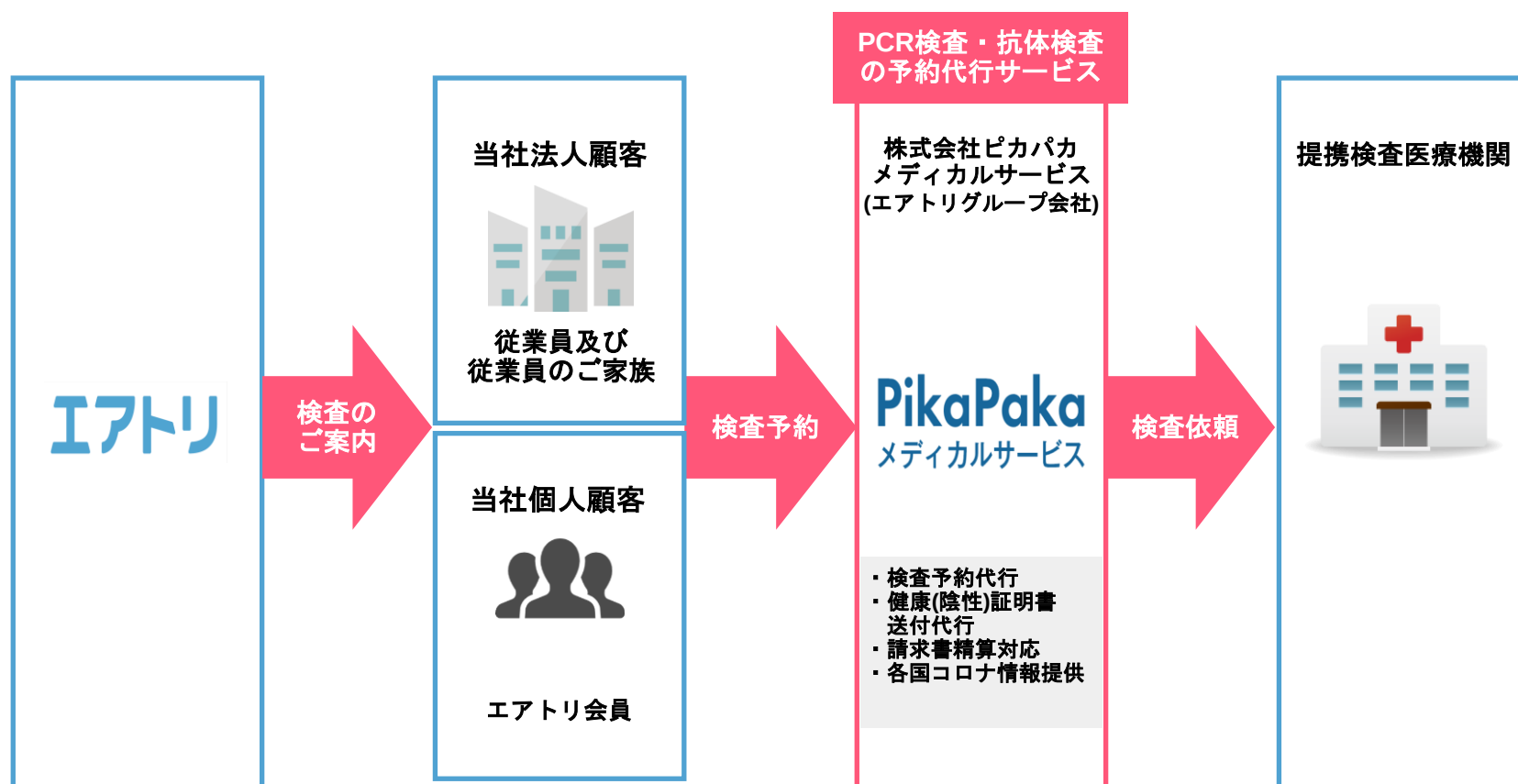
引き続きPCR検査需要を捉え、企業登録社数増加

訪問検査・来院検査・宅配検査の3パターンの検査方法の拡充により、多様なPCR検査需要を満たし、企業登録社数の大幅増加を実現

新型コロナ第3波襲来に伴い、PCR訪問検査増加

2020年11月頃から襲来した新型コロナ第3波により、全社員や該当フロアの社員のみ対象等、各種企業の状況に応じたPCR訪問検査の需要が急増

新型コロナウイルス感染症対策のご支援の一環として 法人顧客向けPCR検査・抗体検査の予約代行サービス開始!!



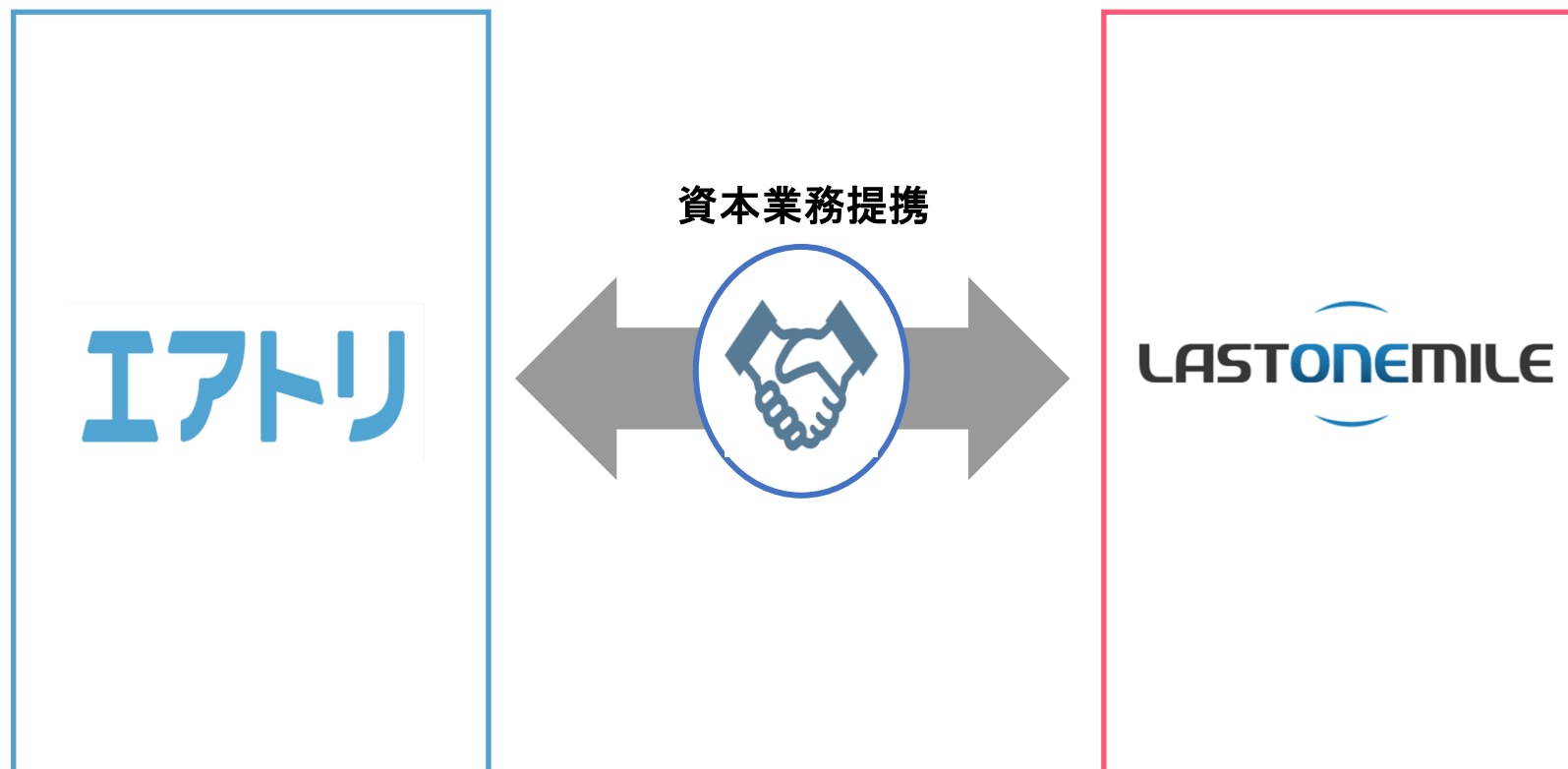
投資育成を強化66社 総投資額約25億円

※2021年2月時点

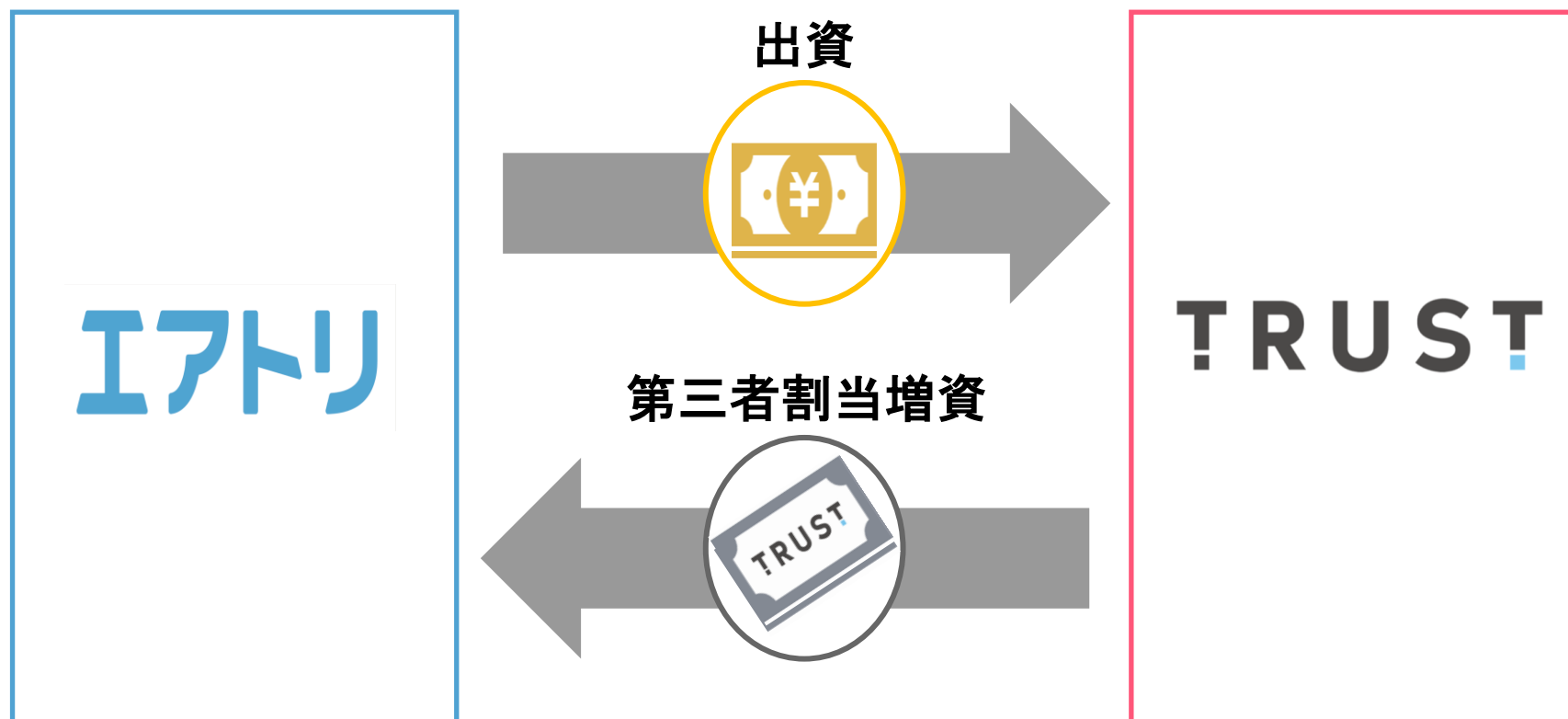


企業と顧客を繋ぐ”ラストワンマイルプラットフォーム” を運営するラストワンマイル社と資本業務提携!!

～当社の会員サービス構築・運営ノウハウ、Web及びアプリケーションに関するノウハウを提供することにより、新たなシナジー創出を目指す～

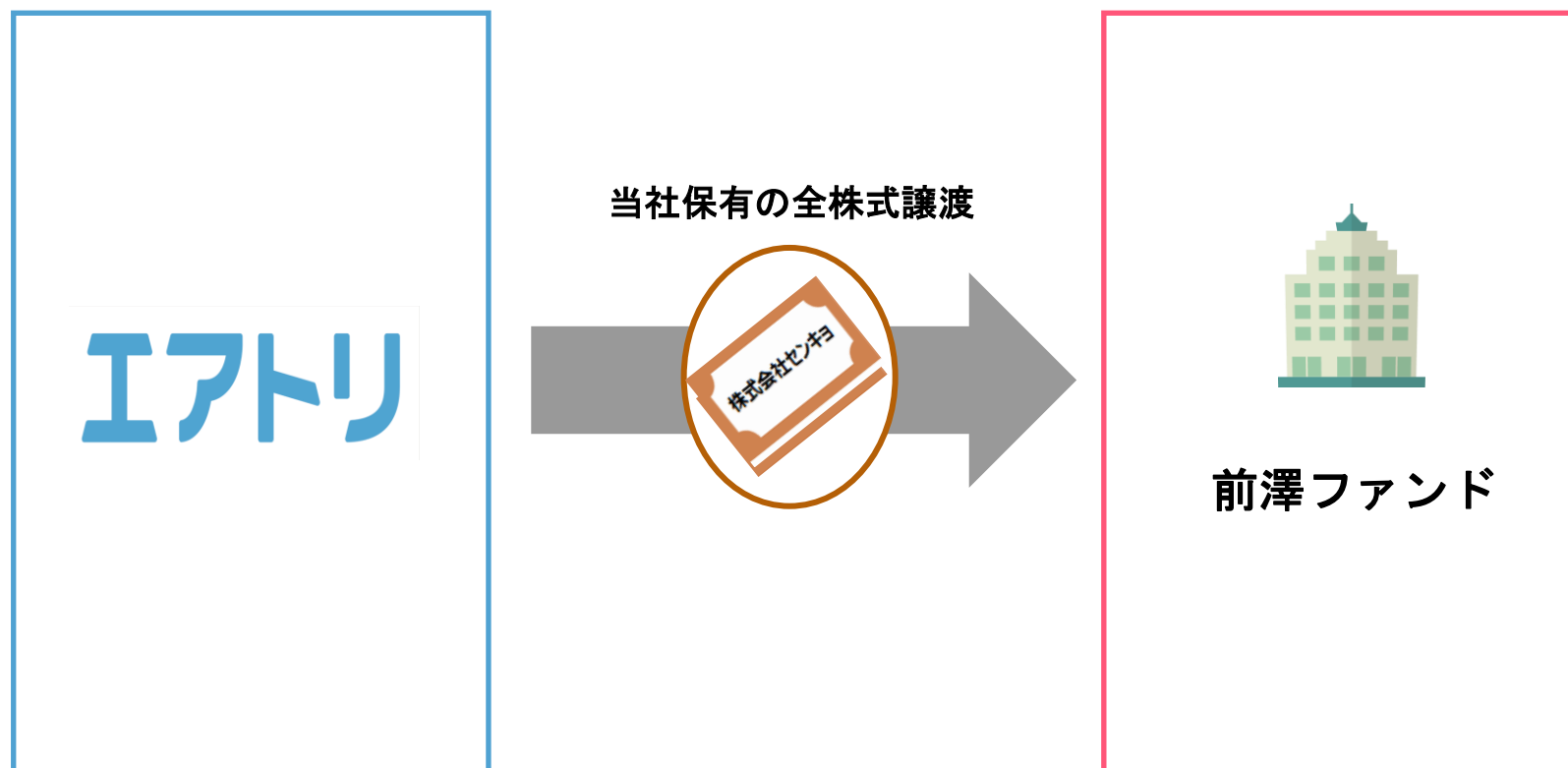


**オフィス・店舗の空間づくり、ITサービスを活用した
建設業界におけるDX推進を展開するTRUST社への資本参加!!**
～建設業界における業務効率化や新たな価値創出に向けたサービスの提供～



当社投資先で「スマート選挙」を運営する株式会社センキョの 当社保有の全株式を前澤ファンドへ譲渡!!

～センキョ社が資金調達を実施するに伴い「選択と集中」による株式譲渡～



エアトリ

- ・本資料は、当社の業界動向及び事業内容について、当社による現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。
- ・これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。
- ・当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。
- ・本資料における将来展望に関する表明は、利用可能な情報に基づいて当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではありません。